

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/株式
信託期間	日本円・コース (毎月分配型) 豪ドル・コース (毎月分配型) ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 米ドル・コース (毎月分配型) 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 約10年間(2011年9月22日~2021年9月7日)
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	日本円・コース (毎月分配型) ①ケイマン籍の外国投資信託「オージェンタム・トラストークロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)」(以下「クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)」といたします。)の受益証券 (円建) ②ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	豪ドル・コース (毎月分配型) ①ケイマン籍の外国投資信託「オージェンタム・トラストークロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス)」(以下「クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス)」といたします。)の受益証券 (円建) ②ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) ①ケイマン籍の外国投資信託「オージェンタム・トラストークロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス)」(以下「クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス)」といたします。)の受益証券 (円建) ②ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	米ドル・コース (毎月分配型) ①ケイマン籍の外国投資信託「オージェンタム・トラストークロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)」(以下「クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)」といたします。)の受益証券 (円建) ②ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	通貨セレクト・コース (毎月分配型) ①ケイマン籍の外国投資信託「オージェンタム・トラストークロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス)」(以下「クロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス)」といたします。)の受益証券 (円建) ②ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
運用方法	日本円・コース (毎月分配型) ①主として、クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)の受益証券を通じて、割安と判断される米国の株式とオプション取引を合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、米ドル建ての資産に対して為替ヘッジを行ない、信託財産の成長をめざします。②当ファンドは、クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態で、クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)への投資割合を高位に維持することを基本とします。③クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)では、米ドル建ての資産に対して米ドル売り/日本円買いの為替ヘッジを行ないます。
	豪ドル・コース (毎月分配型) ①主として、クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス)の受益証券を通じて、割安と判断される米国の株式とオプション取引を合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、米ドル建ての資産に対して為替取引を行ない、信託財産の成長をめざします。②当ファンドは、クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス)とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態で、クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス)への投資割合を高位に維持することを基本とします。③クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス)では、米ドル建ての資産に対して米ドル売り/豪ドル買いの為替取引を行ないます。
	ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) ①主として、クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス)の受益証券を通じて、割安と判断される米国の株式とオプション取引を合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、米ドル建ての資産に対して為替取引を行ない、信託財産の成長をめざします。②当ファンドは、クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス)とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態で、クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス)への投資割合を高位に維持することを基本とします。③クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス)では、米ドル建ての資産に対して米ドル売り/ブラジル・リアル買いの為替取引を行ないます。
組入制限	米ドル・コース (毎月分配型) ①主として、クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)の受益証券を通じて、割安と判断される米国の株式とオプション取引を合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、米ドル建ての資産に対して為替取引を行ない、信託財産の成長をめざします。②当ファンドは、クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態で、クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)への投資割合を高位に維持することを基本とします。③クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)では、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
	通貨セレクト・コース (毎月分配型) ①主として、クロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス)の受益証券を通じて、割安と判断される米国の株式とオプション取引を合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、米ドル建ての資産に対して為替取引を行ない、信託財産の成長をめざします。②当ファンドは、クロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス)とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態で、クロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス)への投資割合を高位に維持することを基本とします。③クロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス)では、米ドル建ての資産に対して米ドル売り/選定通貨買いの為替取引を行ないます。
分配方針	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。分配対象額は、繰上控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。)等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標とし、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行なわないことがあります。通貨セレクト・コースは、第1計算期末には、収益の分配は行ないません。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型)

－トリプル・リターンズ－

- 日本円・コース (毎月分配型)
- 豪ドル・コース (毎月分配型)
- ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)
- 米ドル・コース (毎月分配型)
- 通貨セレクト・コース (毎月分配型)

運用報告書 (全体版)

日本円・コース (毎月分配型)	第42期 (決算日 2015年4月7日)
豪ドル・コース (毎月分配型)	第43期 (決算日 2015年5月7日)
ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)	第44期 (決算日 2015年6月8日)
米ドル・コース (毎月分配型)	第45期 (決算日 2015年7月7日)
	第46期 (決算日 2015年8月7日)
	第47期 (決算日 2015年9月7日)
通貨セレクト・コース (毎月分配型)	第22期 (決算日 2015年4月7日)
	第23期 (決算日 2015年5月7日)
	第24期 (決算日 2015年6月8日)
	第25期 (決算日 2015年7月7日)
	第26期 (決算日 2015年8月7日)
	第27期 (決算日 2015年9月7日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) －トリプル・リターンズ－」は、さる9月7日に決算を行ないました。

ここに、当作成期間中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

- 東京都千代田区丸の内一丁目9番1号 <3834>
- お問い合わせ先 (コールセンター) <3835>
- TEL 0120-106212 <3836>
- (営業日の9:00~17:00) <3837>
- http://www.daiwa-am.co.jp/ <5763>

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル・リターンズ-日本円・コース (毎月分配型)

★日本円・コース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期騰 落率	(参考指数)	期騰 落率			
18期末(2013年4月8日)	円	円	%		%	%	%	百万円
18期末(2013年4月8日)	10,398	90	0.2	13,313	0.8	0.0	99.0	5,431
19期末(2013年5月7日)	10,447	90	1.3	13,863	4.1	0.0	99.2	5,418
20期末(2013年6月7日)	10,442	90	0.8	13,907	0.3	0.0	99.1	4,752
21期末(2013年7月8日)	10,224	90	△ 1.2	13,987	0.6	0.0	99.2	4,574
22期末(2013年8月7日)	10,360	90	2.2	14,548	4.0	0.0	98.3	4,839
23期末(2013年9月9日)	10,202	90	△ 0.7	14,186	△ 2.5	0.0	98.9	4,752
24期末(2013年10月7日)	10,187	90	0.7	14,489	2.1	0.0	99.2	4,580
25期末(2013年11月7日)	10,437	90	3.3	15,174	4.7	0.0	98.0	4,701
26期末(2013年12月9日)	10,559	90	2.0	15,471	2.0	0.0	98.7	4,312
27期末(2014年1月7日)	10,557	90	0.8	15,657	1.2	0.0	99.0	4,193
28期末(2014年2月7日)	10,164	90	△ 2.9	15,200	△ 2.9	0.0	98.8	3,741
29期末(2014年3月7日)	10,566	90	4.8	16,088	5.8	0.0	99.4	3,629
30期末(2014年4月7日)	10,719	90	2.3	15,985	△ 0.6	0.0	98.9	3,325
31期末(2014年5月7日)	10,720	90	0.8	16,008	0.1	0.0	98.8	3,251
32期末(2014年6月9日)	10,930	90	2.8	16,708	4.4	0.0	98.8	3,230
33期末(2014年7月7日)	10,947	90	1.0	17,017	1.8	0.0	98.9	3,127
34期末(2014年8月7日)	10,551	90	△ 2.8	16,458	△ 3.3	0.0	98.7	3,034
35期末(2014年9月8日)	10,893	90	4.1	17,208	4.6	0.0	99.5	3,046
36期末(2014年10月7日)	10,381	90	△ 3.9	16,840	△ 2.1	0.0	98.9	2,891
37期末(2014年11月7日)	10,378	90	0.8	17,409	3.4	0.0	98.0	2,906
38期末(2014年12月8日)	10,307	90	0.2	17,787	2.2	0.0	98.0	2,578
39期末(2015年1月7日)	9,825	90	△ 3.8	17,164	△ 3.5	0.0	99.0	2,553
40期末(2015年2月9日)	9,936	90	2.0	17,617	2.6	0.0	99.3	2,477
41期末(2015年3月9日)	9,788	90	△ 0.6	17,752	0.8	0.0	98.8	2,408
42期末(2015年4月7日)	9,582	90	△ 1.2	17,832	0.5	0.0	98.7	2,399
43期末(2015年5月7日)	9,870	90	3.9	17,828	△ 0.0	0.0	99.1	2,421
44期末(2015年6月8日)	9,645	90	△ 1.4	17,937	0.6	0.0	98.9	2,204
45期末(2015年7月7日)	9,175	90	△ 3.9	17,731	△ 1.2	0.0	98.9	2,060
46期末(2015年8月7日)	8,870	90	△ 2.3	17,858	0.7	0.0	99.4	2,002
47期末(2015年9月7日)	8,140	90	△ 7.2	16,466	△ 7.8	0.0	96.7	1,852

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500種株価指数 (米ドルベース) は、S & P 500種株価指数 (米ドルベース) の原指数をもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500種株価指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

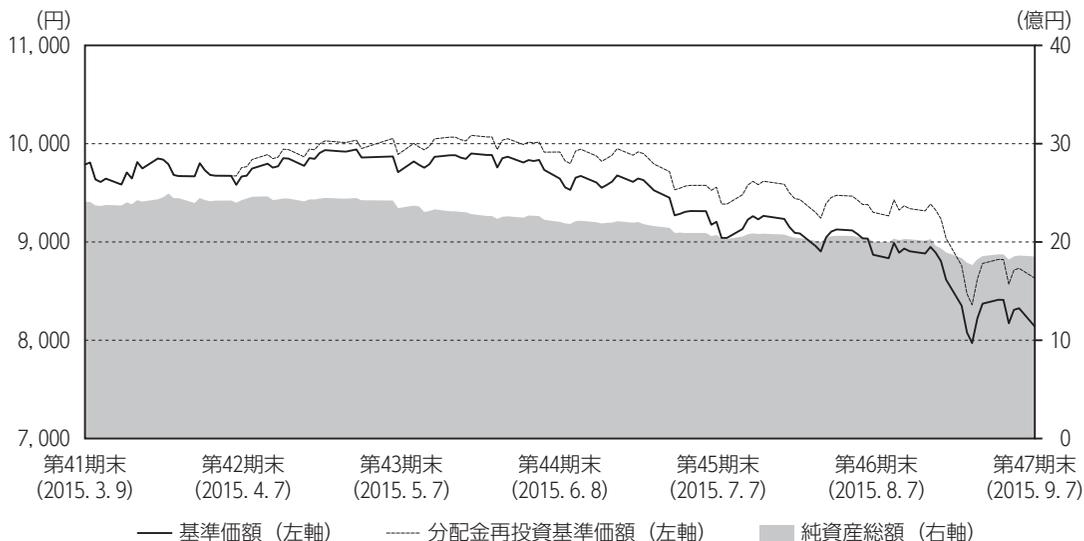
(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

《運用経過》

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■基準価額・騰落率

第42期首：9,788円

第47期末：8,140円（既払分配金540円）

騰落率：△11.8%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

オージェンダム・トラストクロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）（以下、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）」といいます。）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資した結果、クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）の下落が要因となり、基準価額は値下がりしました。クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）については、米国の株式とオプション取引を合わせたカバードコール戦略を構築した結果、株価が下落したことが要因となり、値下がりしました。オプション取引は、プラス要因となりました。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル・リターンズ-日本円・コース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		騰 落 率		(参考指数)	騰 落 率		
第42期	(期首) 2015年 3月 9日	9,788	—	17,752	—	0.0	98.8
	3月末	9,802	0.1	17,881	0.7	0.0	98.1
	(期末) 2015年 4月 7日	9,672	△ 1.2	17,832	0.5	0.0	98.7
第43期	(期首) 2015年 4月 7日	9,582	—	17,832	—	0.0	98.7
	4月末	9,942	3.8	18,057	1.3	0.0	97.9
	(期末) 2015年 5月 7日	9,960	3.9	17,828	△ 0.0	0.0	99.1
第44期	(期首) 2015年 5月 7日	9,870	—	17,828	—	0.0	99.1
	5月末	9,868	△ 0.0	18,177	2.0	0.0	99.6
	(期末) 2015年 6月 8日	9,735	△ 1.4	17,937	0.6	0.0	98.9
第45期	(期首) 2015年 6月 8日	9,645	—	17,937	—	0.0	98.9
	6月末	9,271	△ 3.9	17,636	△ 1.7	0.0	99.3
	(期末) 2015年 7月 7日	9,265	△ 3.9	17,731	△ 1.2	0.0	98.9
第46期	(期首) 2015年 7月 7日	9,175	—	17,731	—	0.0	98.9
	7月末	9,127	△ 0.5	18,073	1.9	0.0	98.3
	(期末) 2015年 8月 7日	8,960	△ 2.3	17,858	0.7	0.0	99.4
第47期	(期首) 2015年 8月 7日	8,870	—	17,858	—	0.0	99.4
	8月末	8,412	△ 5.2	17,046	△ 4.5	0.0	97.8
	(期末) 2015年 9月 7日	8,230	△ 7.2	16,466	△ 7.8	0.0	96.7

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

○米国株式市況

S & P 500種株価指数は下落しました。米国株式市況は、第42期首から2015年8月上旬にかけて、F R B（米国連邦準備制度理事会）による利上げタイミングをめぐる不透明感が強まった局面などでは低調に推移した一方で、ギリシャにおける債務交渉の行方に一喜一憂し同国支援合意への期待が高まった局面などでは反発するなど、比較的狭いレンジ内での推移となりました。8月下旬に入ると、中国に端を発した世界経済への不安から米国株式市況は急落しました。第47期末にかけては、F R Bは利上げを実施しないとの見方が広がったことで買い戻しが入り、小幅ながら反発しました。

○短期金利市況

日本では、日銀が量的・質的金融緩和を継続する中、短期金利は低位で推移しました。一方、F R Bは政策金利の誘導目標レンジを0～0.25%で据え置きました。

前作成期間末における「今後の運用方針」

○当ファンド

引続き、クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

○クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）

投資対象銘柄をS & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄から世界産業分類基準（G I C S）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とし、ドイツ銀行グループが独自に開発した株式分析手法「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いません。

○ダイワ・マネー・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行いません。

ポートフォリオについて

○当ファンド

当ファンドは、クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス) の受益証券とダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券に投資するファンド・オブ・ファンズであり、当期間を通じてクロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス) への投資割合を高位に維持しました。

○クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)

投資対象銘柄を、S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C Sの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とし、ドイツ銀行グループが独自に開発した株式分析手法「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないました。

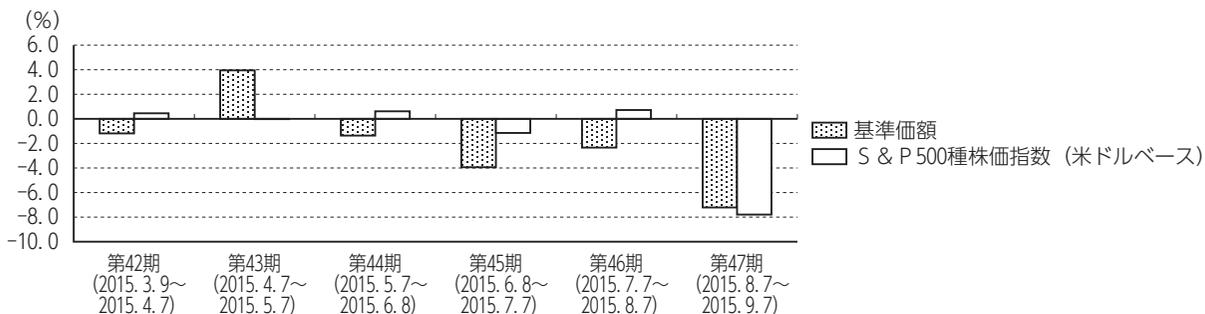
○ダイワ・マネー・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

第42期から第47期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ90円といたしました。
 収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
	2015年3月10日 ～2015年4月7日	2015年4月8日 ～2015年5月7日	2015年5月8日 ～2015年6月8日	2015年6月9日 ～2015年7月7日	2015年7月8日 ～2015年8月7日	2015年8月8日 ～2015年9月7日
当期分配金（税込み）（円）	90	90	90	90	90	90
対基準価額比率（%）	0.93	0.90	0.92	0.97	1.00	1.09
当期の収益（円）	68	77	66	74	65	61
当期の収益以外（円）	21	12	23	15	24	28
翌期繰越分配対象額（円）	1,556	1,543	1,521	1,506	1,483	1,457

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
(a) 経費控除後の配当等収益	68.38円	77.45円	66.99円	74.62円	65.95円	61.82円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	1,275.38	1,280.20	1,283.89	1,285.78	1,290.61	1,303.21
(d) 分配準備積立金	302.54	276.31	260.70	236.13	216.72	182.47
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,646.31	1,633.97	1,611.59	1,596.53	1,573.29	1,547.51
(f) 分配金	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	1,556.31	1,543.97	1,521.59	1,506.53	1,483.29	1,457.51

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

引続き、クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

○クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）

投資対象銘柄をS & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C Sの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とし、ドイツ銀行グループが独自に開発した株式分析手法「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いません。

○ダイワ・マネー・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行いません。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第42期～第47期		項 目 の 概 要
	(2015. 3. 10～2015. 9. 7)		
	金 額	比 率	
信託報酬	62円	0. 657%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9, 418円です。
（投信会社）	(20)	(0. 214)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(40)	(0. 429)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(1)	(0. 013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0. 004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	62	0. 661	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

（2015年3月10日から2015年9月7日まで）

決算期	第 42 期 ～ 第 47 期			
	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
外国 （邦貨建）	千口 2,025,542	千円 203,468	千口 4,444,588	千円 450,000

（注1）買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
（注2）金額は受渡し代金。
（注3）金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

（2015年3月10日から2015年9月7日まで）

第 42 期 ～ 第 47 期							
銘 柄	買 付			売 付			
	口 数	金 額	平均単価	銘 柄	口 数	金 額	平均単価
CROCI US STRATEGY FUND JPY CLASS（ケイマン諸島）	千口 903.57	千円 92,000	円 101	CROCI US STRATEGY FUND JPY CLASS（ケイマン諸島）	千口 4,444,588	千円 450,000	円 101

（注1）金額は受渡し代金。
（注2）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況
当作成期間（第42期～第47期）中における利害関係人との取引はありません。

(3) 当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率
当作成期間（第42期～第47期）中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

(2) ダイワ・マネー・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

（2015年3月10日から2015年9月7日まで）

区 分	第 42 期 ～ 第 47 期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
公社債	百万円 29,139	百万円 1,999	% 6.9	百万円 —	百万円 —	% —
コール・ローン	1,387,336	—	—	—	—	—

（注）平均保有割合0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーフンドのマザーファンド所有口数の割合。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) – トリプル・リターンズ–日本円・コース (毎月分配型)

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 47 期 末		
	口 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI US STRATEGY FUND JPY CLASS	20,638.387	1,792,093	96.7

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年9月7日現在

項 目	第 47 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	1,792,093	95.6
ダイワ・マネー・マザーファンド	135	0.0
コール・ローン等、その他	83,102	4.4
投資信託財産総額	1,875,330	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第41期末	第 47 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	132	132	135

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2015年4月7日)、(2015年5月7日)、(2015年6月8日)、(2015年7月7日)、(2015年8月7日)、(2015年9月7日) 現在

項 目	第42期末	第43期末	第44期末	第45期末	第46期末	第47期末
(A) 資産	2,425,292,824円	2,454,100,035円	2,271,350,812円	2,084,054,599円	2,026,364,164円	1,875,330,993円
コール・ローン等	55,839,679	53,160,096	50,116,663	46,645,708	34,983,998	83,102,539
投資信託受益証券 (評価額)	2,369,317,786	2,400,804,580	2,181,098,778	2,037,273,519	1,991,244,794	1,792,093,082
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	135,359	135,359	135,372	135,372	135,372	135,372
未収入金	—	—	39,999,999	—	—	—
(B) 負債	25,854,188	32,436,530	66,541,974	23,632,339	23,682,647	22,727,469
未払金	—	—	20,000,000	—	—	—
未払収益分配金	22,536,467	22,081,379	20,573,987	20,210,260	20,320,439	20,482,649
未払解約金	770,640	7,680,286	23,266,379	1,087,345	984,211	1,983
未払信託報酬	2,531,596	2,643,211	2,653,722	2,272,947	2,302,129	2,153,796
その他未払費用	15,485	31,654	47,886	61,787	75,868	89,041
(C) 純資産総額 (A - B)	2,399,438,636	2,421,663,505	2,204,808,838	2,060,422,260	2,002,681,517	1,852,603,524
元本	2,504,051,981	2,453,486,661	2,285,998,558	2,245,584,526	2,257,826,599	2,275,849,966
次期繰越損益金	△ 104,613,345	△ 31,823,156	△ 81,189,720	△ 185,162,266	△ 255,145,082	△ 423,246,442
(D) 受益権総口数	2,504,051,981口	2,453,486,661口	2,285,998,558口	2,245,584,526口	2,257,826,599口	2,275,849,966口
1万口当り基準価額 (C/D)	9,582円	9,870円	9,645円	9,175円	8,870円	8,140円

*第41期末における元本額は2,460,990,369円、当作成期間(第42期~第47期)中における追加設定元本額は390,246,307円、同解約元本額は575,386,710円です。

*第47期末の計算口数当りの純資産額は8,140円です。

*第47期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は423,246,442円です。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル・リターンズ-日本円・コース (毎月分配型)

■損益の状況

項目	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
(A) 配当等収益	19,671,446円	19,552,402円	17,984,437円	19,044,009円	17,206,634円	16,237,483円
受取配当金	19,669,296	19,551,192	17,982,578	19,042,605	17,204,916	16,235,330
受取利息	2,150	1,210	1,859	1,404	1,718	2,153
(B) 有価証券売買損益	△ 45,758,778	75,257,989	△ 46,147,576	△ 101,895,026	△ 62,816,769	△ 155,315,298
売買益	1,254,059	76,772,982	1,042,237	1,091,657	454,984	460,409
売買損	△ 47,012,837	△ 1,514,993	△ 47,189,813	△ 102,986,683	△ 63,271,753	△ 155,775,707
(C) 信託報酬等	△ 2,547,081	△ 2,659,380	△ 2,669,954	△ 2,286,848	△ 2,316,210	△ 2,166,969
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 28,634,413	92,151,011	△ 30,833,093	△ 85,137,865	△ 47,926,345	△ 141,244,784
(E) 前期繰越損益金	△ 131,345,206	△ 175,894,156	△ 97,454,896	△ 145,264,708	△ 247,379,444	△ 301,307,182
(F) 追加信託差損益金	77,902,741	74,001,368	67,672,256	65,450,567	60,481,146	39,788,173
(配当等相当額)	(319,362,581)	(314,095,592)	(293,497,383)	(288,733,583)	(291,399,553)	(296,591,271)
(売買損益相当額)	(△ 241,459,840)	(△ 240,094,224)	(△ 225,825,127)	(△ 223,283,016)	(△ 230,918,407)	(△ 256,803,098)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 82,076,878	△ 9,741,777	△ 60,615,733	△ 164,952,006	△ 234,824,643	△ 402,763,793
(H) 収益分配金	△ 22,536,467	△ 22,081,379	△ 20,573,987	△ 20,210,260	△ 20,320,439	△ 20,482,649
次期繰越損益金 (G + H)	△ 104,613,345	△ 31,823,156	△ 81,189,720	△ 185,162,266	△ 255,145,082	△ 423,246,442
追加信託差損益金	77,902,741	74,001,368	67,672,256	65,450,567	60,481,146	39,788,173
(配当等相当額)	(319,362,581)	(314,095,592)	(293,497,383)	(288,733,583)	(291,399,553)	(296,591,271)
(売買損益相当額)	(△ 241,459,840)	(△ 240,094,224)	(△ 225,825,127)	(△ 223,283,016)	(△ 230,918,407)	(△ 256,803,098)
分配準備積立金	70,345,629	64,716,054	54,338,175	49,571,989	43,502,400	35,116,688
繰越損益金	△ 252,861,715	△ 170,540,578	△ 203,200,151	△ 300,184,822	△ 359,128,628	△ 498,151,303

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程 (総額)」の表を参照。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項目	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
(a) 経費控除後の配当等収益	17,124,365円	19,004,038円	15,314,483円	16,757,161円	14,890,424円	14,070,514円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	319,362,581	314,095,592	293,497,383	288,733,583	291,399,553	296,591,271
(d) 分配準備積立金	75,757,731	67,793,395	59,597,679	53,025,088	48,932,415	41,528,823
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	412,244,677	400,893,025	368,409,545	358,515,832	355,222,392	352,190,608
(f) 分配金	22,536,467	22,081,379	20,573,987	20,210,260	20,320,439	20,482,649
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	389,708,210	378,811,646	347,835,558	338,305,572	334,901,953	331,707,959
(h) 受益権総口数	2,504,051,981口	2,453,486,661口	2,285,998,558口	2,245,584,526口	2,257,826,599口	2,275,849,966口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
		90円	90円	90円	90円	90円
（単 価）	(9, 582円)	(9, 870円)	(9, 645円)	(9, 175円)	(8, 870円)	(8, 140円)

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記()内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

《お知らせ》

●信託期間の延長について

信託期間を5年間延長し、信託終了日を2016年9月7日から2021年9月7日に変更しました。

●取得申込および一部解約請求の受付停止日の変更について

取得申込および一部解約請求の受付停止日のうちバミュダの銀行の休業日およびケイマンの銀行の休業日を、受付停止日から除外する変更を行ないました。

《訂正のお知らせ》

作成対象期間の末日が2015年3月9日の交付運用報告書および運用報告書（全体版）につきまして、「1万口当りの費用の明細」の表の「項目の概要」における次の記載にて下線部が不要でした。お詫び申し上げますとともに、下線部を除いてお読み替えくださいますようお願い申し上げます。

「期中の平均基準価額（月末値の平均値）は10,235円です。」

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル・リターンズ-豪ドル・コース (毎月分配型)

★豪ドル・コース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		豪ドル為替レート		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
18期末(2013年4月8日)	円	円	%		%	円	%		%	百万円
18期末(2013年4月8日)	13,558	200	5.2	13,313	0.8	102.19	6.2	0.0	98.4	16,647
19期末(2013年5月7日)	13,520	200	1.2	13,863	4.1	101.53	△ 0.6	0.0	98.6	16,997
20期末(2013年6月7日)	12,550	200	△ 5.7	13,907	0.3	93.01	△ 8.4	0.0	99.0	15,299
21期末(2013年7月8日)	11,884	200	△ 3.7	13,987	0.6	91.70	△ 1.4	0.0	98.8	14,085
22期末(2013年8月7日)	11,470	200	△ 1.8	14,548	4.0	87.36	△ 4.7	0.0	99.1	13,490
23期末(2013年9月9日)	11,632	200	3.2	14,186	△ 2.5	91.45	4.7	0.0	98.9	13,784
24期末(2013年10月7日)	11,636	200	1.8	14,489	2.1	91.86	0.4	0.0	98.4	14,275
25期末(2013年11月7日)	12,117	200	5.9	15,174	4.7	93.46	1.7	0.0	98.4	15,137
26期末(2013年12月9日)	12,101	200	1.5	15,471	2.0	93.86	0.4	0.0	99.3	15,091
27期末(2014年1月7日)	12,053	200	1.3	15,657	1.2	93.29	△ 0.6	0.0	99.0	15,283
28期末(2014年2月7日)	11,227	200	△ 5.2	15,200	△ 2.9	91.46	△ 2.0	0.0	98.5	14,147
29期末(2014年3月7日)	11,865	200	7.5	16,088	5.8	93.60	2.3	0.0	99.0	15,042
30期末(2014年4月7日)	12,300	200	5.4	15,985	△ 0.6	95.82	2.4	0.0	99.0	15,319
31期末(2014年5月7日)	12,029	200	△ 0.6	16,008	0.1	94.98	△ 0.9	0.0	98.4	14,786
32期末(2014年6月9日)	12,309	200	4.0	16,708	4.4	95.77	0.8	0.0	98.7	15,860
33期末(2014年7月7日)	12,241	200	1.1	17,017	1.8	95.56	△ 0.2	0.0	99.1	15,952
34期末(2014年8月7日)	11,701	200	△ 2.8	16,458	△ 3.3	95.50	△ 0.1	0.0	98.8	15,461
35期末(2014年9月8日)	12,354	200	7.3	17,208	4.6	98.39	3.0	0.0	98.2	16,877
36期末(2014年10月7日)	11,375	200	△ 6.3	16,840	△ 2.1	95.44	△ 3.0	0.0	98.6	15,542
37期末(2014年11月7日)	11,689	200	4.5	17,409	3.4	98.59	3.3	0.0	98.0	16,212
38期末(2014年12月8日)	11,859	200	3.2	17,787	2.2	101.00	2.4	0.0	98.6	16,626
39期末(2015年1月7日)	10,676	200	△ 8.3	17,164	△ 3.5	95.81	△ 5.1	0.0	98.6	15,002
40期末(2015年2月9日)	10,349	200	△ 1.2	17,617	2.6	92.16	△ 3.8	0.0	98.8	14,858
41期末(2015年3月9日)	10,196	200	0.5	17,752	0.8	93.07	1.0	0.0	99.1	14,587
42期末(2015年4月7日)	9,579	200	△ 4.1	17,832	0.5	90.58	△ 2.7	0.0	98.0	14,353
43期末(2015年5月7日)	10,136	200	7.9	17,828	△ 0.0	94.95	4.8	0.0	98.4	15,611
44期末(2015年6月8日)	10,018	200	0.8	17,937	0.6	95.62	0.7	0.0	98.5	15,384
45期末(2015年7月7日)	9,087	200	△ 7.3	17,731	△ 1.2	91.88	△ 3.9	0.0	99.0	13,474
46期末(2015年8月7日)	8,612	200	△ 3.0	17,858	0.7	91.62	△ 0.3	0.0	98.9	12,753
47期末(2015年9月7日)	7,000	200	△ 16.4	16,466	△ 7.8	82.55	△ 9.9	0.0	98.8	9,910

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500種株価指数 (米ドルベース) は、S & P 500種株価指数 (米ドルベース) の原指数をもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500種株価指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

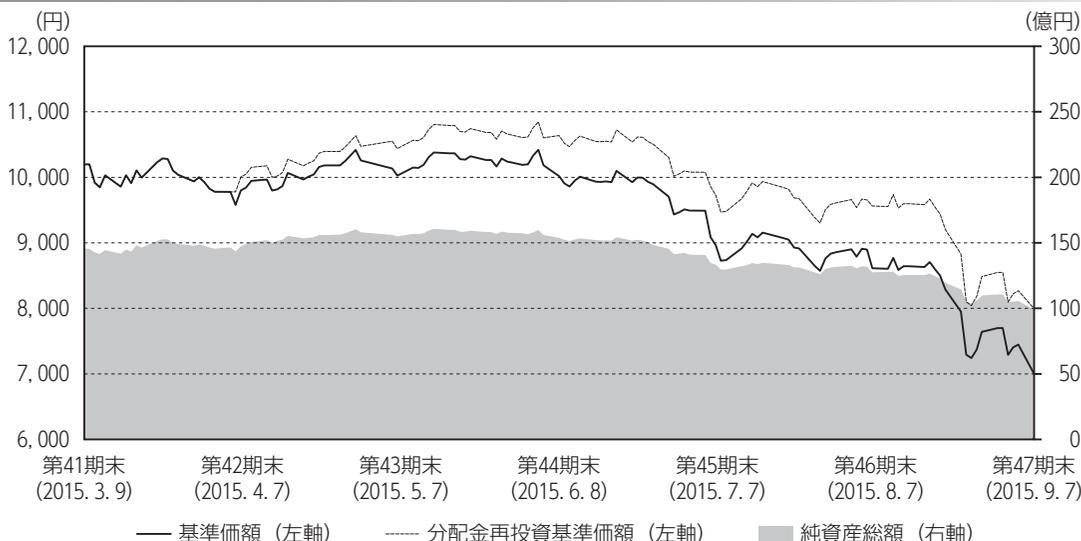
(注4) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

《運用経過》

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■基準価額・騰落率

第42期首：10,196円

第47期末：7,000円（既払分配金1,200円）

騰落率：△21.6%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

オージェンタム・トラスト・クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）（以下、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）」といいます。）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資した結果、クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）の下落が要因となり、基準価額は値下がりしました。クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）については、米国の株式とオプション取引を組合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を活用した結果、為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）がプラス要因となった一方で、株価が下落したことや豪ドルが対円で下落したことが要因となり、値下がりしました。オプション取引は、プラス要因となりました。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル・リターンズ-豪ドル・コース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		豪ドル為替レート		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率		
第42期	(期首) 2015年 3月 9日	10,196	—	17,752	—	93.07	—	0.0	99.1
	3月末	10,002	△ 1.9	17,881	0.7	92.06	△ 1.1	0.0	98.6
	(期末) 2015年 4月 7日	9,779	△ 4.1	17,832	0.5	90.58	△ 2.7	0.0	98.0
第43期	(期首) 2015年 4月 7日	9,579	—	17,832	—	90.58	—	0.0	98.0
	4月末	10,419	8.8	18,057	1.3	95.43	5.4	0.0	96.6
	(期末) 2015年 5月 7日	10,336	7.9	17,828	△ 0.0	94.95	4.8	0.0	98.4
第44期	(期首) 2015年 5月 7日	10,136	—	17,828	—	94.95	—	0.0	98.4
	5月末	10,242	1.0	18,177	2.0	94.83	△ 0.1	0.0	99.2
	(期末) 2015年 6月 8日	10,218	0.8	17,937	0.6	95.62	0.7	0.0	98.5
第45期	(期首) 2015年 6月 8日	10,018	—	17,937	—	95.62	—	0.0	98.5
	6月末	9,434	△ 5.8	17,636	△ 1.7	93.93	△ 1.8	0.0	99.0
	(期末) 2015年 7月 7日	9,287	△ 7.3	17,731	△ 1.2	91.88	△ 3.9	0.0	99.0
第46期	(期首) 2015年 7月 7日	9,087	—	17,731	—	91.88	—	0.0	99.0
	7月末	8,856	△ 2.5	18,073	1.9	90.61	△ 1.4	0.0	98.8
	(期末) 2015年 8月 7日	8,812	△ 3.0	17,858	0.7	91.62	△ 0.3	0.0	98.9
第47期	(期首) 2015年 8月 7日	8,612	—	17,858	—	91.62	—	0.0	98.9
	8月末	7,700	△ 10.6	17,046	△ 4.5	86.55	△ 5.5	0.0	98.7
	(期末) 2015年 9月 7日	7,200	△ 16.4	16,466	△ 7.8	82.55	△ 9.9	0.0	98.8

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

○米国株式市況

S & P 500種株価指数は下落しました。米国株式市況は、第42期首から2015年8月上旬にかけて、F R B（米国連邦準備制度理事会）による利上げタイミングをめぐる不透明感が強まった局面などでは低調に推移した一方で、ギリシャにおける債務交渉の行方に一喜一憂し同国支援合意への期待が高まった局面などでは反発するなど、比較的狭いレンジ内での推移となりました。8月下旬に入ると、中国に端を発した世界経済への不安から米国株式市況は急落しました。第47期末にかけては、F R Bは利上げを実施しないとの見方が広がったことで買い戻しが入り、小幅ながら反発しました。

○為替相場

豪ドルは対円で下落しました。2015年4月上旬から5月中旬にかけては、オーストラリア国内で発表された雇用統計の結果が市場予想を上回ったことや、オーストラリア連邦予算で財政赤字見通しが事前の予想を下回ったことなどを材料に、豪ドルの対円レートは上昇しました。6月下旬に入ると、ギリシャのデフォルト（債務不履行）懸念から世界各国でリスク回避姿勢が強まったことなどから、下落に転じました。8月下旬から第47期末にかけては、中国に端を発した世界経済への不安からリスク回避の流れが加速し、豪ドルの対円レートは下げ幅を広げました。

○短期金利市況

R B A（オーストラリア準備銀行）は政策金利を2.25%から2.00%に引下げました。一方、F R Bは政策金利の誘導目標レンジを0～0.25%で据え置きました。

前作成期間末における「今後の運用方針」

○当ファンド

引続き、クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

○クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）

投資対象銘柄をS & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄から世界産業分類基準（G I C S）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とし、ドイツ銀行グループが独自に開発した株式分析手法「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式

を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を活用して、豪ドルで実質的な運用を行ないます。

○ダイワ・マネー・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

ポートフォリオについて

○当ファンド

当ファンドは、クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）の受益証券とダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券に投資するファンド・オブ・ファンズであり、当期間を通じてクロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）への投資割合を高位に維持しました。

○クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）

投資対象銘柄をS & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C Sの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とし、ドイツ銀行グループが独自に開発した株式分析手法「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。また、米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を活用して、豪ドルで実質的な運用を行ないました。

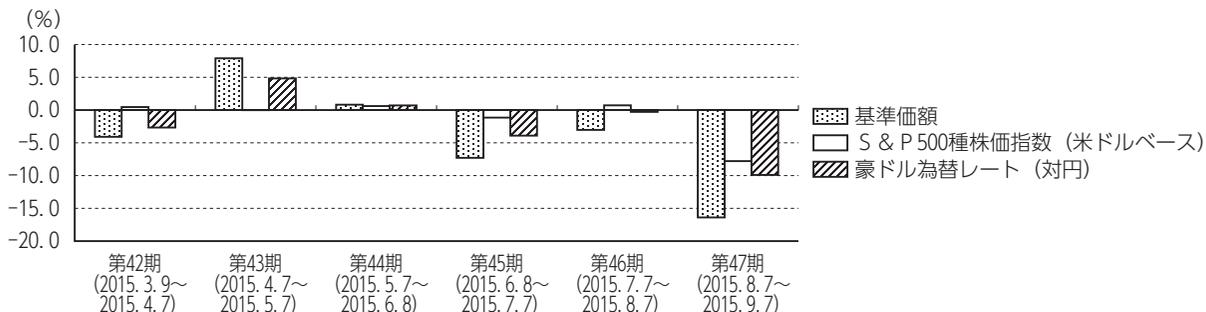
○ダイワ・マネー・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

第42期から第47期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ200円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
	2015年3月10日 ～2015年4月7日	2015年4月8日 ～2015年5月7日	2015年5月8日 ～2015年6月8日	2015年6月9日 ～2015年7月7日	2015年7月8日 ～2015年8月7日	2015年8月8日 ～2015年9月7日
当期分配金（税込み）（円）	200	200	200	200	200	200
対基準価額比率（%）	2.05	1.93	1.96	2.15	2.27	2.78
当期の収益（円）	88	96	81	90	82	79
当期の収益以外（円）	111	104	118	109	117	120
翌期繰越分配対象額（円）	2,878	2,775	2,659	2,550	2,434	2,314

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程 (1万口当り)

項 目	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
(a) 経費控除後の配当等収益	88.87円	95.99円	81.96円	90.94円	82.36円	79.18円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	2,989.55	2,879.48	2,777.13	2,659.30	2,552.07	2,435.02
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	3,078.43	2,975.48	2,859.10	2,750.24	2,634.44	2,514.21
(f) 分配金	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	2,878.43	2,775.48	2,659.10	2,550.24	2,434.44	2,314.21

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

引続き、クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス) への投資割合を高位に維持することを基本とします。

○クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス)

投資対象銘柄をS & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C Sの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とし、ドイツ銀行グループが独自に開発した株式分析手法「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。また、米ドル売り/豪ドル買いの為替取引を活用して、豪ドルで実質的な運用を行ないます。

○ダイワ・マネー・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第42期～第47期		項 目 の 概 要
	(2015. 3. 10～2015. 9. 7)		
	金 額	比 率	
信託報酬	62円	0. 656%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9, 490円です。
（投信会社）	(20)	(0. 214)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(41)	(0. 429)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(1)	(0. 013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0. 004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	63	0. 660	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル・リターンズ-豪ドル・コース (毎月分配型)

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2015年3月10日から2015年9月7日まで)

決算期	第 42 期 ~ 第 47 期			
	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	18,076.994	2,215,868	27,529.974	3,225,000

- (注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
 (注2) 金額は受渡し代金。
 (注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

(2015年3月10日から2015年9月7日まで)

第 42 期 ~ 第 47 期							
買 付				売 付			
銘 柄	口 数	金 額	平均単価	銘 柄	口 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
CROCI US STRATEGY FUND AUD CLASS (ケイマン諸島)	10,879.271	1,345,000	123	CROCI US STRATEGY FUND AUD CLASS (ケイマン諸島)	27,529.974	3,225,000	117

- (注1) 金額は受渡し代金。
 (注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間 (第42期~第47期) 中における利害関係人との取引はありません。

(3) 当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間 (第42期~第47期) 中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

(2) ダイワ・マネー・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

(2015年3月10日から2015年9月7日まで)

区 分	第 42 期 ~ 第 47 期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	29,139	1,999	6.9	—	—	—
コール・ローン	1,387,336	—	—	—	—	—

- (注) 平均保有割合0.0%
 ※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーフンドのマザーファンド所有口数の割合。

ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプル・リターンズ－豪ドル・コース（毎月分配型）

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 47 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI US STRATEGY FUND AUD CLASS	104,614.623	9,793,707	98.8

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年9月7日現在

項 目	第 47 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	9,793,707	94.4
ダイワ・マネー・マザーファンド	655	0.0
コール・ローン等、その他	580,299	5.6
投資信託財産総額	10,374,662	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第41期末	第 47 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	643	643	655

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2015年4月7日)、(2015年5月7日)、(2015年6月8日)、(2015年7月7日)、(2015年8月7日)、(2015年9月7日) 現在

項 目	第42期末	第43期末	第44期末	第45期末	第46期末	第47期末
(A) 資産	14,752,020,980円	15,991,049,079円	15,748,958,540円	13,925,223,048円	13,125,491,950円	10,374,662,716円
コール・ローン等	685,790,703	624,704,216	600,294,007	587,615,860	509,558,308	580,299,752
投資信託受益証券 (評価額)	14,065,574,540	15,365,689,126	15,148,008,732	13,336,951,387	12,615,277,841	9,793,707,163
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	655,737	655,737	655,801	655,801	655,801	655,801
(B) 負債	398,157,496	379,188,695	364,387,615	450,897,656	371,867,656	464,480,527
未払収益分配金	299,703,044	308,047,284	307,149,495	296,549,552	296,175,504	283,141,724
未払解約金	82,982,762	54,211,674	38,665,718	138,304,127	60,420,903	167,641,554
未払信託報酬	15,377,558	16,733,174	18,264,035	15,639,871	14,776,689	13,122,365
その他未払費用	94,132	196,563	308,367	404,106	494,560	574,884
(C) 純資産総額 (A－B)	14,353,863,484	15,611,860,384	15,384,570,925	13,474,325,392	12,753,624,294	9,910,182,189
元本	14,985,152,240	15,402,364,222	15,357,474,757	14,827,477,640	14,808,775,222	14,157,086,211
次期繰越損益金	△ 631,288,756	209,496,162	27,096,168	△ 1,353,152,248	△ 2,055,150,928	△ 4,246,904,022
(D) 受益権総口数	14,985,152,240□	15,402,364,222□	15,357,474,757□	14,827,477,640□	14,808,775,222□	14,157,086,211□
1万口当り基準価額 (C/D)	9,579円	10,136円	10,018円	9,087円	8,612円	7,000円

*第41期末における元本額は14,307,474,427円、当作成期間(第42期～第47期)中における追加設定元本額は3,058,342,395円、同解約元本額は3,208,730,611円です。

*第47期末の計算口数当りの純資産額は7,000円です。

*第47期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は4,246,904,022円です。

ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプル・リターンズ－豪ドル・コース（毎月分配型）

■損益の状況

第42期 自 2015年3月10日 至 2015年4月7日 第44期 自 2015年5月8日 至 2015年6月8日 第46期 自 2015年7月8日 至 2015年8月7日
 第43期 自 2015年4月8日 至 2015年5月7日 第45期 自 2015年6月9日 至 2015年7月7日 第47期 自 2015年8月8日 至 2015年9月7日

項 目	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
(A) 配当等収益	148,653,228円	150,042,245円	144,261,018円	150,578,907円	136,841,851円	125,308,583円
受取配当金	148,640,335	150,031,974	144,245,975	150,568,435	136,832,130	125,295,939
受取利息	12,893	10,271	15,043	10,472	9,721	12,644
(B) 有価証券売買損益	△ 735,145,836	1,008,278,992	△ 5,071,123	△ 1,216,568,321	△ 517,403,988	△ 2,099,366,206
売買益	8,544,295	1,018,491,660	5,622,464	16,071,414	11,108,642	50,107,637
売買損	△ 743,690,131	△ 10,212,668	△ 10,693,587	△ 1,232,639,735	△ 528,512,630	△ 2,149,473,843
(C) 信託報酬等	△ 15,471,690	△ 16,835,605	△ 18,375,839	△ 15,735,610	△ 14,867,143	△ 13,202,689
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 601,964,298	1,141,485,632	120,814,056	△ 1,081,725,024	△ 395,429,280	△ 1,987,260,312
(E) 前期繰越損益金	△ 1,949,206,207	△ 2,636,611,024	△ 1,589,252,089	△ 1,527,036,391	△ 2,666,541,946	△ 2,994,049,244
(F) 追加信託差損益金	2,219,584,793	2,012,668,838	1,802,683,696	1,552,158,719	1,302,995,802	1,017,547,258
(配当等相当額)	(4,479,898,514)	(4,435,092,468)	(4,264,982,992)	(3,943,079,700)	(3,779,317,184)	(3,447,289,434)
(売買損益相当額)	(△ 2,260,313,721)	(△ 2,422,423,630)	(△ 2,462,299,296)	(△ 2,390,920,981)	(△ 2,476,321,382)	(△ 2,429,742,176)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 331,585,712	517,543,446	334,245,663	△ 1,056,602,696	△ 1,758,975,424	△ 3,963,762,298
(H) 収益分配金	△ 299,703,044	△ 308,047,284	△ 307,149,495	△ 296,549,552	△ 296,175,504	△ 283,141,724
次期繰越損益金 (G + H)	△ 631,288,756	209,496,162	27,096,168	△ 1,353,152,248	△ 2,055,150,928	△ 4,246,904,022
追加信託差損益金	2,053,063,298	1,852,483,598	1,621,419,392	1,390,452,476	1,128,795,016	846,511,437
(配当等相当額)	(4,313,377,019)	(4,274,907,228)	(4,083,718,688)	(3,781,373,457)	(3,605,116,398)	(3,276,253,613)
(売買損益相当額)	(△ 2,260,313,721)	(△ 2,422,423,630)	(△ 2,462,299,296)	(△ 2,390,920,981)	(△ 2,476,321,382)	(△ 2,429,742,176)
繰越損益金	△ 2,684,352,054	△ 1,642,987,436	△ 1,594,323,224	△ 2,743,604,724	△ 3,183,945,944	△ 5,093,415,459

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表を参照。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
(a) 経費控除後の配当等収益	133,181,549円	147,862,044円	125,885,191円	134,843,309円	121,974,718円	112,105,903円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	4,479,898,514	4,435,092,468	4,264,982,992	3,943,079,700	3,779,317,184	3,447,289,434
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	4,613,080,063	4,582,954,512	4,390,868,183	4,077,923,009	3,901,291,902	3,559,395,337
(f) 分配金	299,703,044	308,047,284	307,149,495	296,549,552	296,175,504	283,141,724
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	4,313,377,019	4,274,907,228	4,083,718,688	3,781,373,457	3,605,116,398	3,276,253,613
(h) 受益権総口数	14,985,152,240口	15,402,364,222口	15,357,474,757口	14,827,477,640口	14,808,775,222口	14,157,086,211口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
		200円	200円	200円	200円	200円
（単 価）	(9, 579円)	(10, 136円)	(10, 018円)	(9, 087円)	(8, 612円)	(7, 000円)

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記()内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

《お知らせ》

- 信託期間の延長について
信託期間を5年間延長し、信託終了日を2016年9月7日から2021年9月7日に変更しました。
- 取得申込および一部解約請求の受付停止日の変更について
取得申込および一部解約請求の受付停止日のうちバミューダの銀行の休業日およびケイマンの銀行の休業日を、受付停止日から除外する変更を行ないました。

《訂正のお知らせ》

作成対象期間の末日が2015年3月9日の交付運用報告書および運用報告書（全体版）につきまして、「1万口当りの費用の明細」の表の「項目の概要」における次の記載にて下線部が不要でした。お詫び申し上げますとともに、下線部を除いてお読み替えくださいますようお願い申し上げます。

「期中の平均基準価額（月末値の平均値）」は11,247円です。」

★ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		ブラジル・リアル 為替レート		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
18期末(2013年4月8日)	10,923	200	2.3	13,313	0.8	49.53	3.7	0.0	98.5	157,577
19期末(2013年5月7日)	10,886	200	1.5	13,863	4.1	49.34	△ 0.4	0.0	98.5	172,650
20期末(2013年6月7日)	10,227	200	△ 4.2	13,907	0.3	45.75	△ 7.3	0.0	99.0	172,059
21期末(2013年7月8日)	9,548	200	△ 4.7	13,987	0.6	45.00	△ 1.6	0.0	98.0	162,855
22期末(2013年8月7日)	9,173	200	△ 1.8	14,548	4.0	42.36	△ 5.9	0.0	97.7	163,699
23期末(2013年9月9日)	9,022	200	0.5	14,186	△ 2.5	43.20	2.0	0.0	98.3	164,915
24期末(2013年10月7日)	9,146	200	3.6	14,489	2.1	43.98	1.8	0.0	98.3	171,680
25期末(2013年11月7日)	9,107	200	1.8	15,174	4.7	43.12	△ 2.0	0.0	98.2	178,581
26期末(2013年12月9日)	9,299	200	4.3	15,471	2.0	44.21	2.5	0.0	98.8	190,208
27期末(2014年1月7日)	9,234	200	1.5	15,657	1.2	43.88	△ 0.7	0.0	98.8	193,388
28期末(2014年2月7日)	8,569	200	△ 5.0	15,200	△ 2.9	42.84	△ 2.4	0.0	98.6	187,707
29期末(2014年3月7日)	9,208	200	9.8	16,088	5.8	44.36	3.5	0.0	98.5	207,762
30期末(2014年4月7日)	9,590	200	6.3	15,985	△ 0.6	46.17	4.1	0.0	98.8	220,950
31期末(2014年5月7日)	9,463	200	0.8	16,008	0.1	45.56	△ 1.3	0.0	98.3	222,281
32期末(2014年6月9日)	9,529	200	2.8	16,708	4.4	45.67	0.2	0.0	98.5	234,894
33期末(2014年7月7日)	9,508	200	1.9	17,017	1.8	46.18	1.1	0.0	98.5	242,479
34期末(2014年8月7日)	8,935	200	△ 3.9	16,458	△ 3.3	44.93	△ 2.7	0.0	98.0	239,840
35期末(2014年9月8日)	9,517	200	8.8	17,208	4.6	46.84	4.3	0.0	98.3	268,869
36期末(2014年10月7日)	8,734	200	△ 6.1	16,840	△ 2.1	44.90	△ 4.1	0.0	98.1	260,807
37期末(2014年11月7日)	8,639	200	1.2	17,409	3.4	44.79	△ 0.2	0.0	98.2	276,861
38期末(2014年12月8日)	8,840	200	4.6	17,787	2.2	46.97	4.9	0.0	98.4	300,293
39期末(2015年1月7日)	7,876	200	△ 8.6	17,164	△ 3.5	44.00	△ 6.3	0.0	98.1	280,073
40期末(2015年2月9日)	7,696	200	0.3	17,617	2.6	42.73	△ 2.9	0.0	98.4	289,140
41期末(2015年3月9日)	6,933	200	△ 7.3	17,752	0.8	39.41	△ 7.8	0.0	97.9	272,339
42期末(2015年4月7日)	6,391	200	△ 4.9	17,832	0.5	38.24	△ 3.0	0.0	98.1	256,078
43期末(2015年5月7日)	6,841	150	9.4	17,828	△ 0.0	39.33	2.9	0.0	97.6	281,797
44期末(2015年6月8日)	6,664	150	△ 0.4	17,937	0.6	39.94	1.6	0.0	99.1	264,829
45期末(2015年7月7日)	6,210	150	△ 4.6	17,731	△ 1.2	39.11	△ 2.1	0.0	99.1	239,212
46期末(2015年8月7日)	5,384	150	△ 10.9	17,858	0.7	35.28	△ 9.8	0.0	99.1	202,612
47期末(2015年9月7日)	4,309	150	△ 17.2	16,466	△ 7.8	30.98	△ 12.2	0.0	98.9	158,087

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500種株価指数 (米ドルベース) は、S & P 500種株価指数 (米ドルベース) の原指数をもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500種株価指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

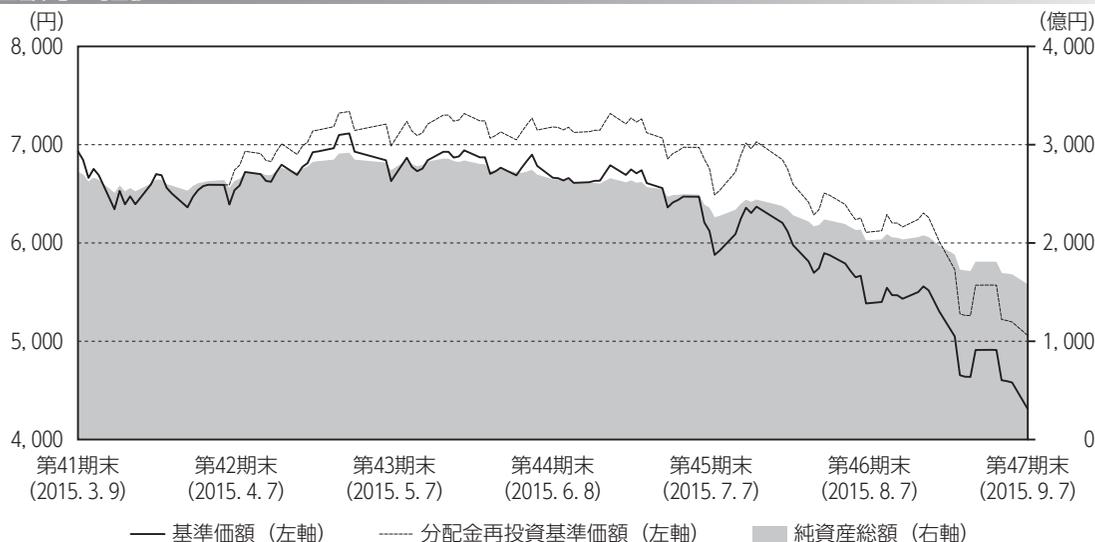
(注4) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

《運用経過》

基準価額等の推移について



- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■基準価額・騰落率

第42期首：6,933円

第47期末：4,309円（既払分配金950円）

騰落率：△27.0%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

オージェンタム・トラスト・クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）（以下、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）」といいます。）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資した結果、クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）の下落が要因となり、基準価額は値下がりしました。クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）については、米国の株式とオプション取引を組合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、米ドル売り／ブラジル・リアル買いの為替取引を活用した結果、為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）がプラス要因となった一方で、株価が下落したことやブラジル・リアルが対円で下落したことが要因となり、値下がりしました。オプション取引は、プラス要因となりました。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル・リターンズ-ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		ブラジル・リアル 為替レート		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率		
第42期	(期首) 2015年 3月 9日	6,933	—	17,752	—	39.41	—	0.0	97.9
	3月末	6,470	△ 6.7	17,881	0.7	37.19	△ 5.6	0.0	98.3
	(期末) 2015年 4月 7日	6,591	△ 4.9	17,832	0.5	38.24	△ 3.0	0.0	98.1
第43期	(期首) 2015年 4月 7日	6,391	—	17,832	—	38.24	—	0.0	98.1
	4月末	7,115	11.3	18,057	1.3	40.12	4.9	0.0	96.0
	(期末) 2015年 5月 7日	6,991	9.4	17,828	△ 0.0	39.33	2.9	0.0	97.6
第44期	(期首) 2015年 5月 7日	6,841	—	17,828	—	39.33	—	0.0	97.6
	5月末	6,766	△ 1.1	18,177	2.0	39.12	△ 0.5	0.0	99.4
	(期末) 2015年 6月 8日	6,814	△ 0.4	17,937	0.6	39.94	1.6	0.0	99.1
第45期	(期首) 2015年 6月 8日	6,664	—	17,937	—	39.94	—	0.0	99.1
	6月末	6,362	△ 4.5	17,636	△ 1.7	39.27	△ 1.7	0.0	99.3
	(期末) 2015年 7月 7日	6,360	△ 4.6	17,731	△ 1.2	39.11	△ 2.1	0.0	99.1
第46期	(期首) 2015年 7月 7日	6,210	—	17,731	—	39.11	—	0.0	99.1
	7月末	5,877	△ 5.4	18,073	1.9	36.78	△ 6.0	0.0	99.0
	(期末) 2015年 8月 7日	5,534	△ 10.9	17,858	0.7	35.28	△ 9.8	0.0	99.1
第47期	(期首) 2015年 8月 7日	5,384	—	17,858	—	35.28	—	0.0	99.1
	8月末	4,912	△ 8.8	17,046	△ 4.5	33.82	△ 4.1	0.0	99.5
	(期末) 2015年 9月 7日	4,459	△ 17.2	16,466	△ 7.8	30.98	△ 12.2	0.0	98.9

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

○米国株式市況

S & P 500種株価指数は下落しました。米国株式市況は、第42期首から2015年8月上旬にかけて、F R B（米国連邦準備制度理事会）による利上げタイミングをめぐる不透明感が強まった局面などでは低調に推移した一方で、ギリシャにおける債務交渉の行方に一喜一憂し同国支援合意への期待が高まった局面などでは反発するなど、比較的狭いレンジ内での推移となりました。8月下旬に入ると、中国に端を発した世界経済への不安から米国株式市況は急落しました。第47期末にかけては、F R Bは利上げを実施しないとの見方が広がったことで買い戻しが入り、小幅ながら反発しました。

○為替相場

ブラジル・リアルは対円で下落しました。第42期首より、ブラジル全土で大規模なデモが発生したことなどをを受けて、リアルは下落して始まりました。2015年4月に入ると持ち直したものの、6月下旬には、ギリシャのデフォルト（債務不履行）懸念から世界各国でリスク回避姿勢が強まったことなどから下落しました。7月に入ると、ブラジル財務相が基礎的財政収支の黒字目標の引下げを表明し、ブラジルの格付け引下げ懸念が高まったことなどから続落しました。8月下旬から第47期末にかけては、中国に端を発した世界経済への不安からリスク回避の流れが加速し、下げ幅を広げました。

○短期金利市況

ブラジル中央銀行は政策金利を12.75%から合計1.50%ポイント引上げ、14.25%としました。一方、F R Bは政策金利の誘導目標レンジを0～0.25%で据え置きました。

前作成期間末における「今後の運用方針」

○当ファンド

引続き、クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

○クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）

投資対象銘柄をS & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄から世界産業分類基準（G I C S）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とし、ドイツ銀行グループが独自に開発した株式分析手法「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式

を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り／ブラジル・リアル買いの為替取引を活用して、ブラジル・リアルで実質的な運用を行ないます。

○ダイワ・マネー・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

ポートフォリオについて

○当ファンド

当ファンドは、クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）の受益証券とダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券に投資するファンド・オブ・ファンズであり、当期間を通じてクロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）への投資割合を高位に維持しました。

○クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）

投資対象銘柄をS & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C Sの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とし、ドイツ銀行グループが独自に開発した株式分析手法「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。また、米ドル売り／ブラジル・リアル買いの為替取引を活用して、ブラジル・リアルで実質的な運用を行ないました。

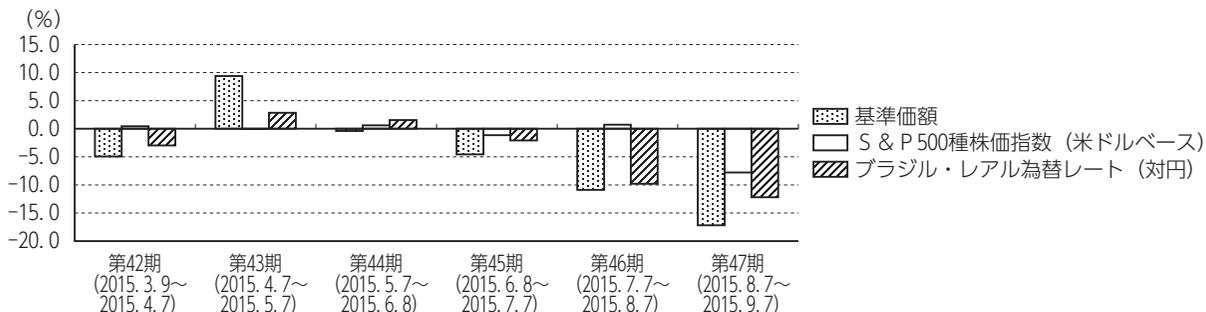
○ダイワ・マネー・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

1万口当り分配金（税込み）は、第42期は200円、第43期～第47期はそれぞれ150円といたしました。収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
	2015年3月10日 ～2015年4月7日	2015年4月8日 ～2015年5月7日	2015年5月8日 ～2015年6月8日	2015年6月9日 ～2015年7月7日	2015年7月8日 ～2015年8月7日	2015年8月8日 ～2015年9月7日
当期分配金（税込み）（円）	200	150	150	150	150	150
対基準価額比率（%）	3.03	2.15	2.20	2.36	2.71	3.36
当期の収益（円）	117	106	104	133	115	122
当期の収益以外（円）	82	43	45	16	34	27
翌期繰越分配対象額（円）	1,949	1,908	1,863	1,847	1,813	1,785

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程 (1万口当り)

項 目	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
(a) 経費控除後の配当等収益	117.47円	106.84円	104.87円	133.67円	115.77円	122.20円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	2,032.13	1,951.16	1,908.63	1,863.75	1,847.67	1,813.78
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	2,149.60	2,058.01	2,013.50	1,997.42	1,963.45	1,935.99
(f) 分配金	200.00	150.00	150.00	150.00	150.00	150.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	1,949.60	1,908.01	1,863.50	1,847.42	1,813.45	1,785.99

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

引続き、クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス) への投資割合を高位に維持することを基本とします。

○クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス)

投資対象銘柄をS & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C Sの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とし、ドイツ銀行グループが独自に開発した株式分析手法「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。また、米ドル売り/ブラジル・リアル買いの為替取引を活用して、ブラジル・リアルで実質的な運用を行ないます。

○ダイワ・マネー・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第42期～第47期		項 目 の 概 要
	(2015. 3. 10～2015. 9. 7)		
	金 額	比 率	
信託報酬	41円	0.656%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は6,296円です。
（投信会社）	(13)	(0.214)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(27)	(0.429)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0.000	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.000)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	41	0.656	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

（2015年3月10日から2015年9月7日まで）

決算期	第 42 期 ～ 第 47 期			
	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 （邦貨建）	543,463.448	44,869,222	825,002.118	65,200,000

（注1）買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

（注2）金額は受渡し代金。

（注3）金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

（2015年3月10日から2015年9月7日まで）

第 42 期 ～				第 47 期			
買 付			平均単価	売 付			平均単価
銘 柄	口 数	金 額		銘 柄	口 数	金 額	
	千口	千円	円		千口	千円	円
CROCI US STRATEGY FUND BRL CLASS（ケイマン諸島）	181,893.123	15,700,000	86	CROCI US STRATEGY FUND BRL CLASS（ケイマン諸島）	825,002.118	65,200,000	79

（注1）金額は受渡し代金。

（注2）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間（第42期～第47期）中における利害関係人との取引はありません。

(3) 当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間（第42期～第47期）中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

(2) ダイワ・マネー・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

（2015年3月10日から2015年9月7日まで）

決算期	第 42 期 ～ 第 47 期						
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B		B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	
百万円		百万円	%			百万円	百万円
公社債	29,139	1,999	6.9	—	—	—	—
コール・ローン	1,387,336	—	—	—	—	—	—

（注）平均保有割合0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーフンドのマザーファンド所有口数の割合。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル・リターンズ-ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 47 期 末		
	口 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI US STRATEGY FUND BRL CLASS	2,719,283.638	156,274,511	98.9

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年9月7日現在

項 目	第 47 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	156,274,511	95.0
ダイワ・マネー・マザーファンド	4,488	0.0
コール・ローン等、その他	8,303,860	5.0
投資信託財産総額	164,582,860	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第41期末	第 47 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	4,401	4,401	4,488

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2015年4月7日)、(2015年5月7日)、(2015年6月8日)、(2015年7月7日)、(2015年8月7日)、(2015年9月7日) 現在

項 目	第42期末	第43期末	第44期末	第45期末	第46期末	第47期末
(A) 資産	264,721,456,717円	288,352,731,793円	272,453,862,959円	246,437,772,072円	209,644,051,875円	164,582,860,169円
コール・ローン等	13,488,839,839	13,222,049,022	9,919,349,034	9,275,981,827	8,779,273,638	8,303,860,423
投資信託受益証券 (評価額)	251,228,128,994	275,126,194,887	262,530,025,601	237,157,301,921	200,860,289,913	156,274,511,422
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	4,487,884	4,487,884	4,488,324	4,488,324	4,488,324	4,488,324
(B) 負債	8,642,922,511	6,555,284,843	7,624,074,339	7,225,180,305	7,031,345,967	6,495,145,596
未払収益分配金	8,013,445,923	6,178,723,748	5,960,731,945	5,778,110,811	5,645,158,789	5,503,652,564
未払解約金	356,358,205	74,907,163	1,341,226,309	1,175,080,012	1,127,666,521	776,836,722
未払信託報酬	272,953,574	301,305,064	321,585,504	271,294,829	257,651,140	213,621,362
その他未払費用	164,809	348,868	530,581	694,653	869,517	1,034,948
(C) 純資産総額 (A-B)	256,078,534,206	281,797,446,950	264,829,788,620	239,212,591,767	202,612,705,908	158,087,714,573
元本	400,672,296,168	411,914,916,573	397,382,129,725	385,207,387,425	376,343,919,322	366,910,170,946
次期繰越損益金	△144,593,761,962	△130,117,469,623	△132,552,341,105	△145,994,795,658	△173,731,213,414	△208,822,456,373
(D) 受益権総口数	400,672,296,168口	411,914,916,573口	397,382,129,725口	385,207,387,425口	376,343,919,322口	366,910,170,946口
1万口当り基準価額 (C/D)	6,391円	6,841円	6,664円	6,210円	5,384円	4,309円

*第41期末における元本額は392,797,996,456円、当作成期間(第42期～第47期)中における追加設定元本額は51,557,639,918円、同解約元本額は77,445,465,428円です。

*第47期末の計算口数当りの純資産額は4,309円です。

*第47期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は208,822,456,373円です。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル・リターンズ-ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)

■損益の状況

第42期 自 2015年 3月10日 至 2015年 4月 7日 第44期 自 2015年 5月 8日 至 2015年 6月 8日 第46期 自 2015年 7月 8日 至 2015年 8月 7日
 第43期 自 2015年 4月 8日 至 2015年 5月 7日 第45期 自 2015年 6月 9日 至 2015年 7月 7日 第47期 自 2015年 8月 8日 至 2015年 9月 7日

項 目	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
(A) 配当等収益	4,979,866,687円	4,456,051,780円	4,489,260,213円	5,420,710,222円	4,615,096,197円	4,697,604,027円
受取配当金	4,979,587,428	4,455,837,457	4,488,976,278	5,420,573,312	4,614,971,493	4,697,432,758
受取利息	279,259	214,323	283,935	136,910	124,704	171,269
(B) 有価証券売買損益	△ 17,684,043,638	20,048,659,782	△ 5,212,483,442	△ 16,866,215,786	△ 29,772,685,331	△ 38,362,681,358
売買益	561,895,193	20,133,566,722	291,994,722	176,393,289	400,271,221	567,500,389
売買損	△ 18,245,938,831	△ 84,906,940	△ 5,504,478,164	△ 17,042,609,075	△ 30,172,956,552	△ 38,930,181,747
(C) 信託報酬等	△ 273,118,383	△ 301,489,123	△ 321,767,217	△ 271,458,901	△ 257,826,004	△ 213,786,793
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 12,977,295,334	24,203,222,439	△ 1,044,990,446	△ 11,716,964,465	△ 25,415,415,138	△ 33,878,864,124
(E) 前期繰越損益金	△ 70,598,485,815	△ 87,475,020,123	△ 64,377,172,862	△ 67,043,813,327	△ 81,417,530,110	△ 107,485,740,730
(F) 追加信託差損益金	△ 53,004,534,890	△ 60,666,948,191	△ 61,169,445,852	△ 61,455,907,055	△ 61,253,109,377	△ 61,954,198,955
(配当等相当額)	(81,421,820,321)	(80,371,438,653)	(75,845,619,984)	(71,793,084,048)	(69,536,149,476)	(66,549,655,795)
(売買損益相当額)	(△ 134,426,355,211)	(△ 141,038,386,844)	(△ 137,015,065,836)	(△ 133,248,991,103)	(△ 130,789,258,853)	(△ 128,503,854,750)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 136,580,316,039	△ 123,938,745,875	△ 126,591,609,160	△ 140,216,684,847	△ 168,086,054,625	△ 203,318,803,809
(H) 収益分配金	△ 8,013,445,923	△ 6,178,723,748	△ 5,960,731,945	△ 5,778,110,811	△ 5,645,158,789	△ 5,503,652,564
次期繰越損益金 (G + H)	△ 144,593,761,962	△ 130,117,469,623	△ 132,552,341,105	△ 145,994,795,658	△ 173,731,213,414	△ 208,822,456,373
追加信託差損益金	△ 56,311,232,413	△ 62,444,430,788	△ 62,962,684,691	△ 62,084,766,446	△ 62,540,997,892	△ 62,974,034,205
(配当等相当額)	(78,115,122,798)	(78,593,956,056)	(74,052,381,145)	(71,164,224,657)	(68,248,260,961)	(65,529,820,545)
(売買損益相当額)	(△ 134,426,355,211)	(△ 141,038,386,844)	(△ 137,015,065,836)	(△ 133,248,991,103)	(△ 130,789,258,853)	(△ 128,503,854,750)
繰越損益金	△ 88,282,529,549	△ 67,673,038,835	△ 69,589,656,414	△ 83,910,029,212	△ 111,190,215,522	△ 145,848,422,168

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程 (総額)」の表を参照。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
(a) 経費控除後の配当等収益	4,706,748,400円	4,401,241,151円	4,167,493,106円	5,149,251,420円	4,357,270,274円	4,483,817,314円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	81,421,820,321	80,371,438,653	75,845,619,984	71,793,084,048	69,536,149,476	66,549,655,795
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	86,128,568,721	84,772,679,804	80,013,113,090	76,942,335,468	73,893,419,750	71,033,473,109
(f) 分配金	8,013,445,923	6,178,723,748	5,960,731,945	5,778,110,811	5,645,158,789	5,503,652,564
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	78,115,122,798	78,593,956,056	74,052,381,145	71,164,224,657	68,248,260,961	65,529,820,545
(h) 受益権総口数	400,672,296,168口	411,914,916,573口	397,382,129,725口	385,207,387,425口	376,343,919,322口	366,910,170,946口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
		200円	150円	150円	150円	150円
（単 価）	(6,391円)	(6,841円)	(6,664円)	(6,210円)	(5,384円)	(4,309円)

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記()内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

《お知らせ》

●信託期間の延長について

信託期間を5年間延長し、信託終了日を2016年9月7日から2021年9月7日に変更しました。

●取得申込および一部解約請求の受付停止日の変更について

取得申込および一部解約請求の受付停止日のうちバミューダの銀行の休業日およびケイマンの銀行の休業日を、受付停止日から除外する変更を行ないました。

《訂正のお知らせ》

作成対象期間の末日が2015年3月9日の交付運用報告書および運用報告書（全体版）につきまして、「1万口当りの費用の明細」の表の「項目の概要」における次の記載にて下線部が不要でした。お詫び申し上げますとともに、下線部を除いてお読み替えくださいますようお願い申し上げます。

「期中の平均基準価額（月末値の平均値）は8,402円です。」

★米ドル・コース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500種株価指数 (円換算)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込 分配 金	期 騰 落 率	(参考指数)	期 騰 落 率			
18期末(2013年4月8日)	円 13,363	円 90	% 3.9	17,092	% 5.5	% 0.0	% 98.9	百万円 2,237
19期末(2013年5月7日)	13,603	90	2.5	17,906	4.8	0.0	99.0	2,540
20期末(2013年6月7日)	13,641	90	0.9	17,650	△ 1.4	0.0	98.7	2,491
21期末(2013年7月8日)	13,699	90	1.1	18,469	4.6	0.0	98.4	2,787
22期末(2013年8月7日)	13,465	90	△ 1.1	18,462	△ 0.0	0.0	97.6	2,872
23期末(2013年9月9日)	13,454	90	0.6	18,419	△ 0.2	0.0	98.9	3,149
24期末(2013年10月7日)	13,227	90	△ 1.0	18,359	△ 0.3	0.0	98.7	3,108
25期末(2013年11月7日)	13,789	90	4.9	19,508	6.3	0.0	99.0	3,258
26期末(2013年12月9日)	14,546	90	6.1	20,776	6.5	0.0	98.7	3,587
27期末(2014年1月7日)	14,846	90	2.7	21,299	2.5	0.0	98.9	3,721
28期末(2014年2月7日)	13,977	90	△ 5.2	20,208	△ 5.1	0.0	98.6	3,808
29期末(2014年3月7日)	14,729	90	6.0	21,609	6.9	0.0	98.9	4,163
30期末(2014年4月7日)	15,029	90	2.6	21,494	△ 0.5	0.0	99.7	4,329
31期末(2014年5月7日)	14,873	90	△ 0.4	21,191	△ 1.4	0.0	98.9	4,142
32期末(2014年6月9日)	15,249	90	3.1	22,327	5.4	0.0	98.8	4,023
33期末(2014年7月7日)	15,260	90	0.7	22,659	1.5	0.0	99.4	3,844
34期末(2014年8月7日)	14,775	90	△ 2.6	21,909	△ 3.3	0.0	99.3	3,611
35期末(2014年9月8日)	15,665	90	6.6	23,561	7.5	0.0	98.7	3,678
36期末(2014年10月7日)	15,568	150	0.3	23,903	1.4	0.0	98.7	3,636
37期末(2014年11月7日)	16,302	150	5.7	26,099	9.2	0.0	96.1	4,333
38期末(2014年12月8日)	16,999	300	6.1	28,177	8.0	0.0	98.7	4,965
39期末(2015年1月7日)	15,720	300	△ 5.8	26,577	△ 5.7	0.0	96.7	6,754
40期末(2015年2月9日)	15,784	300	2.3	27,294	2.7	0.0	97.6	8,682
41期末(2015年3月9日)	15,682	300	1.3	27,927	2.3	0.0	97.3	10,839
42期末(2015年4月7日)	15,053	300	△ 2.1	27,770	△ 0.6	0.0	95.2	15,292
43期末(2015年5月7日)	15,380	300	4.2	27,717	△ 0.2	0.0	97.7	16,658
44期末(2015年6月8日)	15,586	300	3.3	29,328	5.8	0.0	98.8	16,531
45期末(2015年7月7日)	14,327	300	△ 6.2	28,353	△ 3.3	0.0	98.7	15,810
46期末(2015年8月7日)	13,920	300	△ 0.7	29,024	2.4	0.0	97.9	15,460
47期末(2015年9月7日)	12,014	300	△ 11.5	25,546	△ 12.0	0.0	98.1	13,838

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500種株価指数 (円換算) は、S & P 500種株価指数 (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500種株価指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

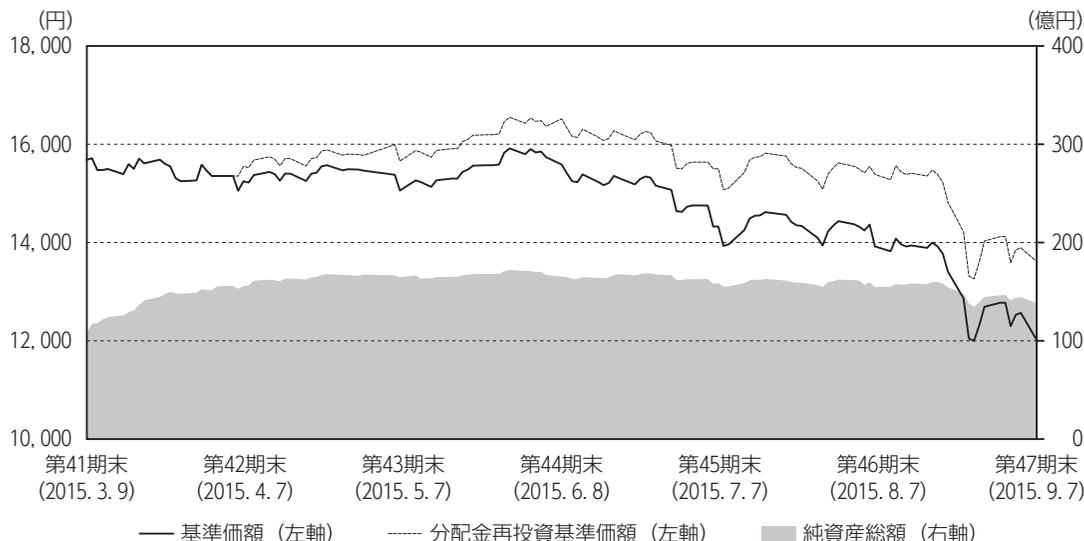
(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

《運用経過》

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■ 基準価額・騰落率

第42期首：15,682円

第47期末：12,014円（既払分配金1,800円）

騰落率：△13.2%（分配金再投資ベース）

■ 基準価額の主な変動要因

オージェンタム・トラスト・クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）（以下、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）」といいます。）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資した結果、クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）の下落が要因となり、基準価額は値下がりしました。クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）については、米国の株式とオプション取引を合わせたカバードコール戦略を構築した結果、株価が下落したことや米ドルが対円で下落したことが要因となり、値下がりしました。オプション取引は、プラス要因となりました。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル・リターンズ-米ドル・コース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500種株価指数 (円換算)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		騰 落 率		(参考指数)	騰 落 率		
第42期	(期首) 2015年 3月 9日	15,682	—	27,927	—	0.0	97.3
	3月末	15,585	△ 0.6	27,996	0.2	0.0	98.1
	(期末) 2015年 4月 7日	15,353	△ 2.1	27,770	△ 0.6	0.0	95.2
第43期	(期首) 2015年 4月 7日	15,053	—	27,770	—	0.0	95.2
	4月末	15,485	2.9	27,998	0.8	0.0	96.7
	(期末) 2015年 5月 7日	15,680	4.2	27,717	△ 0.2	0.0	97.7
第44期	(期首) 2015年 5月 7日	15,380	—	27,717	—	0.0	97.7
	5月末	15,916	3.5	29,303	5.7	0.0	98.8
	(期末) 2015年 6月 8日	15,886	3.3	29,328	5.8	0.0	98.8
第45期	(期首) 2015年 6月 8日	15,586	—	29,328	—	0.0	98.8
	6月末	14,638	△ 6.1	28,136	△ 4.1	0.0	98.6
	(期末) 2015年 7月 7日	14,627	△ 6.2	28,353	△ 3.3	0.0	98.7
第46期	(期首) 2015年 7月 7日	14,327	—	28,353	—	0.0	98.7
	7月末	14,436	0.8	29,208	3.0	0.0	98.6
	(期末) 2015年 8月 7日	14,220	△ 0.7	29,024	2.4	0.0	97.9
第47期	(期首) 2015年 8月 7日	13,920	—	29,024	—	0.0	97.9
	8月末	12,775	△ 8.2	26,914	△ 7.3	0.0	98.6
	(期末) 2015年 9月 7日	12,314	△ 11.5	25,546	△ 12.0	0.0	98.1

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

○米国株式市況

S & P 500種株価指数は下落しました。米国株式市況は、第42期首から2015年8月上旬にかけて、F R B（米国連邦準備制度理事会）による利上げタイミングをめぐる不透明感が強まった局面などでは低調に推移した一方で、ギリシャにおける債務交渉の行方に一喜一憂し同国支援合意への期待が高まった局面などでは反発するなど、比較的狭いレンジ内での推移となりました。8月下旬に入ると、中国に端を発した世界経済への不安から米国株式市況は急落しました。第47期末にかけては、F R Bは利上げを実施しないとの見方が広がったことで買い戻しが入り、小幅ながら反発しました。

○為替相場

米ドルは対円で小幅下落しました。第42期首から2015年5月上旬にかけては、米ドルの対円レートは弱含みに推移して始まりました。5月中旬に入ると、4月のFOMC（米国連邦公開市場委員会）の議事録発表を受けて米ドルは反発に転じました。米国の複数の経済指標が改善したことも、米ドルを押し上げました。6月下旬から8月上旬にかけては、ギリシャの債務交渉の行方などに一喜一憂しつつ方向感のない推移となりました。8月下旬に入ると、中国に端を発した世界経済への不安からリスク回避の流れが加速し、米ドルの対円レートは下落しました。

前作成期間末における「今後の運用方針」

○当ファンド

引続き、クロッキーU Sストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーU Sストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

○クロッキーU Sストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）

投資対象銘柄をS & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄から世界産業分類基準（G I C S）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とし、ドイツ銀行グループが独自に開発した株式分析手法「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

○ダイワ・マネー・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

ポートフォリオについて

○当ファンド

当ファンドは、クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）の受益証券とダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券に投資するファンド・オブ・ファンズであり、当期間を通じてクロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）への投資割合を高位に維持しました。

○クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）

投資対象銘柄をS & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C Sの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とし、ドイツ銀行グループが独自に開発した株式分析手法「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。

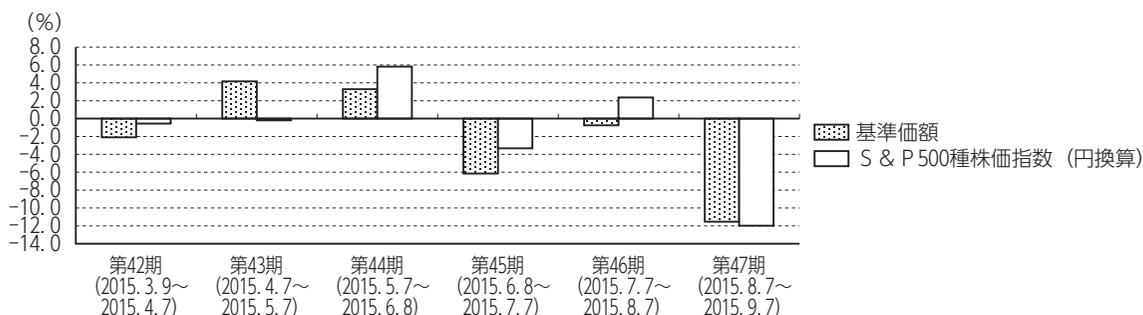
○ダイワ・マネー・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

第42期から第47期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ300円といたしました。
 収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
	2015年3月10日 ～2015年4月7日	2015年4月8日 ～2015年5月7日	2015年5月8日 ～2015年6月8日	2015年6月9日 ～2015年7月7日	2015年7月8日 ～2015年8月7日	2015年8月8日 ～2015年9月7日
当期分配金（税込み）（円）	300	300	300	300	300	300
対基準価額比率（％）	1.95	1.91	1.89	2.05	2.11	2.44
当期の収益（円）	95	117	300	103	101	96
当期の収益以外（円）	204	182	—	196	198	203
翌期繰越分配対象額（円）	6,655	6,477	6,655	6,461	6,267	6,069

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
(a) 経費控除後の配当等収益	95.96円	117.75円	116.02円	103.92円	101.96円	96.29円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	358.66	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	6,607.24	6,616.07	6,480.31	6,492.50	6,465.70	6,272.73
(d) 分配準備積立金	252.34	43.83	0.00	164.67	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	6,955.56	6,777.66	6,955.01	6,761.10	6,567.67	6,369.02
(f) 分配金	300.00	300.00	300.00	300.00	300.00	300.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	6,655.56	6,477.66	6,655.01	6,461.10	6,267.67	6,069.02

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

引続き、クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

○クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）

投資対象銘柄をS & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C Sの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とし、ドイツ銀行グループが独自に開発した株式分析手法「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

○ダイワ・マネー・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第42期～第47期		項 目 の 概 要
	(2015. 3. 10～2015. 9. 7)		
	金 額	比 率	
信託報酬	97円	0. 657%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は14, 816円です。
（投信会社）	(32)	(0. 215)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(64)	(0. 429)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(2)	(0. 013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	1	0. 004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監査費用）	(1)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	98	0. 661	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル・リターンズ-米ドル・コース (毎月分配型)

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2015年3月10日から2015年9月7日まで)

決算期	第 42 期 ~ 第 47 期			
	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
外国 (邦貨建)	千口 54,029.206	千円 8,864,520	千口 19,209.404	千円 3,030,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

(2015年3月10日から2015年9月7日まで)

第 42 期 ~ 第 47 期						
買 付			売 付			
銘 柄	口 数	金 額	平均単価	銘 柄	口 数	金 額
CROCI US STRATEGY FUND USD CLASS (ケイマン諸島)	千口 49,187.175	千円 8,082,000	円 164	CROCI US STRATEGY FUND USD CLASS (ケイマン諸島)	千口 19,209.404	千円 3,030,000
						平均単価 円 157

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間 (第42期~第47期) 中における利害関係人との取引はありません。

(3) 当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間 (第42期~第47期) 中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

(2) ダイワ・マネー・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

(2015年3月10日から2015年9月7日まで)

区 分	第 42 期 ~ 第 47 期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
公社債	百万円 29,139	百万円 1,999	% 6.9	百万円 —	百万円 —	% —
コール・ローン	1,387,336	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーフンドのマザーファンド所有口数の割合。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル・リターンズ-米ドル・コース (毎月分配型)

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 47 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI US STRATEGY FUND USD CLASS	97,564.648	13,580,999	98.1

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年9月7日現在

項 目	第 47 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	13,580,999	95.1
ダイワ・マネー・マザーファンド	13	0.0
コール・ローン等、その他	703,525	4.9
投資信託財産総額	14,284,537	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第41期末	第 47 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	12	12	13

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2015年4月7日)、(2015年5月7日)、(2015年6月8日)、(2015年7月7日)、(2015年8月7日)、(2015年9月7日) 現在

項 目	第42期末	第43期末	第44期末	第45期末	第46期末	第47期末
(A) 資産	15,674,098,913円	17,205,631,286円	17,343,582,266円	16,195,022,665円	16,309,028,138円	14,284,537,237円
コール・ローン等	1,113,604,311	928,154,625	658,425,255	594,949,083	1,177,994,936	703,525,073
投資信託受益証券 (評価額)	14,560,481,568	16,277,463,627	16,325,143,976	15,600,060,547	15,131,020,167	13,580,999,129
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	13,034	13,034	13,035	13,035	13,035	13,035
未収入金	—	—	360,000,000	—	—	—
(B) 負債	381,454,264	546,814,693	812,560,002	384,633,339	848,697,401	445,957,957
未払金	—	—	180,000,000	—	—	—
未払収益分配金	304,766,292	324,947,362	318,181,639	331,058,469	333,207,022	345,569,334
未払解約金	61,975,123	203,886,303	294,702,928	35,830,998	497,066,801	82,868,128
未払信託報酬	14,623,334	17,782,655	19,358,560	17,320,969	17,891,153	16,884,711
その他未払費用	89,515	198,373	316,875	422,903	532,425	635,784
(C) 純資産総額 (A - B)	15,292,644,649	16,658,816,593	16,531,022,264	15,810,389,326	15,460,330,737	13,838,579,280
元本	10,158,876,408	10,831,578,761	10,606,054,657	11,035,282,332	11,106,900,738	11,518,977,808
次期繰越損益金	5,133,768,241	5,827,237,832	5,924,967,607	4,775,106,994	4,353,429,999	2,319,601,472
(D) 受益権総口数	10,158,876,408□	10,831,578,761□	10,606,054,657□	11,035,282,332□	11,106,900,738□	11,518,977,808□
1万口当り基準価額 (C/D)	15,053円	15,380円	15,586円	14,327円	13,920円	12,014円

*第41期末における元本額は6,911,910,087円、当作成期間(第42期~第47期)中における追加設定元本額は7,325,818,109円、同解約元本額は2,718,750,388円です。

*第47期末の計算口数当りの純資産額は12,014円です。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル・リターンズ-米ドル・コース (毎月分配型)

■損益の状況

第42期 自 2015年3月10日 至 2015年4月7日 第44期 自 2015年5月8日 至 2015年6月8日 第46期 自 2015年7月8日 至 2015年8月7日
 第43期 自 2015年4月8日 至 2015年5月7日 第45期 自 2015年6月9日 至 2015年7月7日 第47期 自 2015年8月8日 至 2015年9月7日

項 目	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
(A) 配当等収益	112, 207, 355円	131, 059, 650円	127, 576, 145円	132, 108, 151円	131, 253, 593円	127, 906, 776円
受取配当金	112, 184, 536	131, 042, 844	127, 555, 600	132, 092, 740	131, 237, 910	127, 880, 505
受取利息	22, 819	16, 806	20, 545	15, 411	15, 683	26, 271
(B) 有価証券売買損益	△ 391, 719, 183	536, 088, 065	422, 239, 637	△ 1, 154, 561, 135	△ 226, 703, 320	△ 1, 874, 674, 155
売買益	3, 087, 652	543, 366, 416	429, 201, 996	12, 673, 993	6, 847, 701	92, 274, 866
売買損	△ 394, 806, 835	△ 7, 278, 351	△ 6, 962, 359	△ 1, 167, 235, 128	△ 233, 551, 021	△ 1, 966, 949, 021
(C) 信託報酬等	△ 14, 712, 849	△ 17, 891, 513	△ 19, 477, 062	△ 17, 426, 997	△ 18, 000, 675	△ 16, 988, 070
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 294, 224, 677	649, 256, 202	530, 338, 720	△ 1, 039, 879, 981	△ 113, 450, 402	△ 1, 763, 755, 449
(E) 前期繰越損益金	78, 991, 379	△ 503, 034, 437	△ 26, 875, 445	181, 723, 043	△ 1, 093, 053, 994	△ 1, 242, 626, 416
(F) 追加信託差損益金	5, 653, 767, 831	6, 005, 963, 429	5, 739, 685, 971	5, 964, 322, 401	5, 893, 141, 417	5, 671, 552, 671
(配当等相当額)	(6, 712, 218, 123)	(7, 166, 249, 763)	(6, 873, 060, 278)	(7, 164, 664, 222)	(7, 181, 393, 895)	(7, 225, 544, 714)
(売買損益相当額)	(△ 1, 058, 450, 292)	(△ 1, 160, 286, 334)	(△ 1, 133, 374, 307)	(△ 1, 200, 341, 821)	(△ 1, 288, 252, 478)	(△ 1, 553, 992, 043)
(G) 合計 (D + E + F)	5, 438, 534, 533	6, 152, 185, 194	6, 243, 149, 246	5, 106, 165, 463	4, 686, 637, 021	2, 665, 170, 806
(H) 収益分配金	△ 304, 766, 292	△ 324, 947, 362	△ 318, 181, 639	△ 331, 058, 469	△ 333, 207, 022	△ 345, 569, 334
次期繰越損益金 (G + H)	5, 133, 768, 241	5, 827, 237, 832	5, 924, 967, 607	4, 775, 106, 994	4, 353, 429, 999	2, 319, 601, 472
追加信託差損益金	5, 653, 767, 831	5, 856, 047, 375	5, 739, 685, 971	5, 929, 668, 129	5, 673, 187, 313	5, 436, 902, 043
(配当等相当額)	(6, 712, 218, 123)	(7, 016, 333, 709)	(6, 873, 060, 278)	(7, 130, 009, 950)	(6, 961, 439, 791)	(6, 990, 894, 086)
(売買損益相当額)	(△ 1, 058, 450, 292)	(△ 1, 160, 286, 334)	(△ 1, 133, 374, 307)	(△ 1, 200, 341, 821)	(△ 1, 288, 252, 478)	(△ 1, 553, 992, 043)
分配準備積立金	49, 087, 032	—	185, 281, 636	—	—	—
繰越損益金	△ 569, 086, 622	△ 28, 809, 543	—	△ 1, 154, 561, 135	△ 1, 319, 757, 314	△ 3, 117, 300, 571

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程 (総額)」の表を参照。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
(a) 経費控除後の配当等収益	97, 494, 506円	127, 545, 757円	123, 057, 467円	114, 681, 154円	113, 252, 918円	110, 918, 706円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	380, 405, 808	0	0	0
(c) 収益調整金	6, 712, 218, 123	7, 166, 249, 763	6, 873, 060, 278	7, 164, 664, 222	7, 181, 393, 895	7, 225, 544, 714
(d) 分配準備積立金	256, 358, 818	47, 485, 551	0	181, 723, 043	0	0
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	7, 066, 071, 447	7, 341, 281, 071	7, 376, 523, 553	7, 461, 068, 419	7, 294, 646, 813	7, 336, 463, 420
(f) 分配金	304, 766, 292	324, 947, 362	318, 181, 639	331, 058, 469	333, 207, 022	345, 569, 334
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	6, 761, 305, 155	7, 016, 333, 709	7, 058, 341, 914	7, 130, 009, 950	6, 961, 439, 791	6, 990, 894, 086
(h) 受益権総口数	10, 158, 876, 408□	10, 831, 578, 761□	10, 606, 054, 657□	11, 035, 282, 332□	11, 106, 900, 738□	11, 518, 977, 808□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
		300円	300円	300円	300円	300円
（単 価）	（15, 053円）	（15, 380円）	（15, 586円）	（14, 327円）	（13, 920円）	（12, 014円）

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記()内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

《お知らせ》

●信託期間の延長について

信託期間を5年間延長し、信託終了日を2016年9月7日から2021年9月7日に変更しました。

●取得申込および一部解約請求の受付停止日の変更について

取得申込および一部解約請求の受付停止日のうちバミュードの銀行の休業日およびケイマンの銀行の休業日を、受付停止日から除外する変更を行ないました。

《訂正のお知らせ》

作成対象期間の末日が2015年3月9日の交付運用報告書および運用報告書（全体版）につきまして、「1万口当りの費用の明細」の表の「項目の概要」における次の記載にて下線部が不要でした。お詫び申し上げますとともに、下線部を除いてお読み替えくださいますようお願い申し上げます。

「期中の平均基準価額（月末値の平均値）は16,008円です。」

★通貨セレクト・コース (毎月分配型)

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期騰 落率	(参考指数)	期騰 落率			
1 期末 (2013年 7 月 8 日)	円 9,560	円 —	% △ 4.4	9,864	% △ 1.4	% 0.0	% 98.3	百万円 265
2 期末 (2013年 8 月 7 日)	9,416	100	△ 0.5	10,260	4.0	0.0	97.9	329
3 期末 (2013年 9 月 9 日)	9,162	100	△ 1.6	10,005	△ 2.5	0.0	98.3	330
4 期末 (2013年10月 7 日)	9,284	100	2.4	10,218	2.1	0.0	98.7	350
5 期末 (2013年11月 7 日)	9,453	100	2.9	10,702	4.7	0.0	98.9	999
6 期末 (2013年12月 9 日)	9,964	100	6.5	10,911	2.0	0.0	99.0	614
7 期末 (2014年 1 月 7 日)	9,898	100	0.3	11,042	1.2	0.0	98.9	904
8 期末 (2014年 2 月 7 日)	9,136	100	△ 6.7	10,719	△ 2.9	0.0	98.9	904
9 期末 (2014年 3 月 7 日)	9,687	100	7.1	11,346	5.8	0.0	99.3	1,004
10 期末 (2014年 4 月 7 日)	10,113	100	5.4	11,273	△ 0.6	0.0	98.9	993
11 期末 (2014年 5 月 7 日)	10,021	100	0.1	11,289	0.1	0.0	98.7	1,038
12 期末 (2014年 6 月 9 日)	10,385	100	4.6	11,783	4.4	0.0	98.9	1,163
13 期末 (2014年 7 月 7 日)	10,358	100	0.7	12,001	1.8	0.0	98.4	1,127
14 期末 (2014年 8 月 7 日)	9,785	100	△ 4.6	11,607	△ 3.3	0.0	98.9	1,061
15 期末 (2014年 9 月 8 日)	10,377	100	7.1	12,136	4.6	0.0	98.8	1,131
16 期末 (2014年10月 7 日)	9,715	100	△ 5.4	11,876	△ 2.1	0.0	99.0	830
17 期末 (2014年11月 7 日)	9,863	100	2.6	12,278	3.4	0.0	98.8	928
18 期末 (2014年12月 8 日)	10,060	100	3.0	12,544	2.2	0.0	98.9	929
19 期末 (2015年 1 月 7 日)	8,948	100	△ 10.1	12,105	△ 3.5	0.0	98.4	843
20 期末 (2015年 2 月 9 日)	8,877	100	0.3	12,424	2.6	0.0	98.9	839
21 期末 (2015年 3 月 9 日)	8,569	100	△ 2.3	12,520	0.8	0.0	98.6	834
22 期末 (2015年 4 月 7 日)	8,336	100	△ 1.6	12,576	0.5	0.0	98.8	805
23 期末 (2015年 5 月 7 日)	8,566	100	4.0	12,573	△ 0.0	0.0	98.8	843
24 期末 (2015年 6 月 8 日)	8,505	100	0.5	12,650	0.6	0.0	98.9	819
25 期末 (2015年 7 月 7 日)	7,941	100	△ 5.5	12,505	△ 1.2	0.0	98.3	755
26 期末 (2015年 8 月 7 日)	7,415	100	△ 5.4	12,594	0.7	0.0	98.8	602
27 期末 (2015年 9 月 7 日)	6,063	100	△ 16.9	11,613	△ 7.8	0.0	98.0	473

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注 2) S & P 500種株価指数 (米ドルベース) は、S & P 500種株価指数 (米ドルベース) の原指数をもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500種株価指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

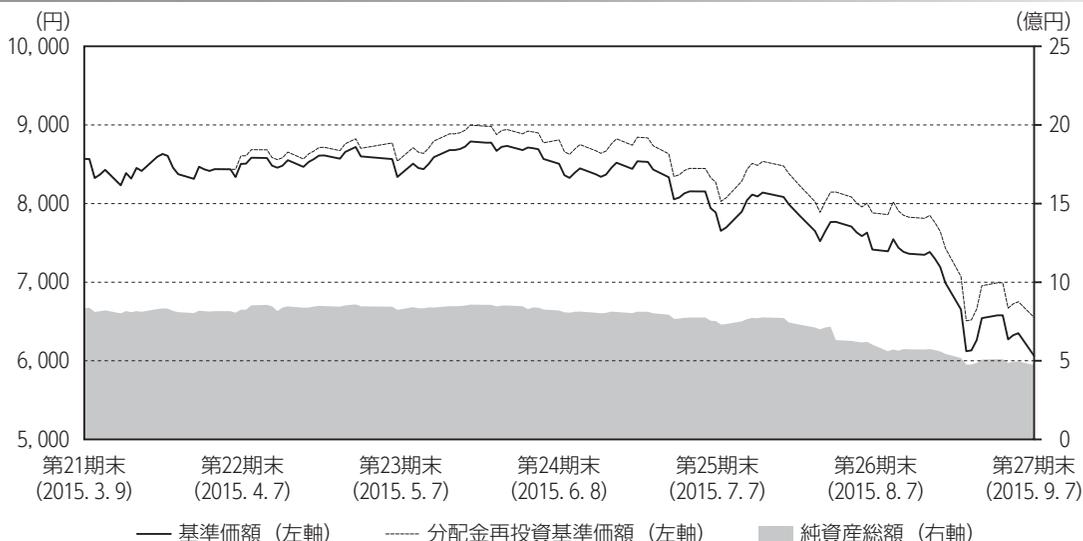
(注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注 4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注 5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

《運用経過》

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかにについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■基準価額・騰落率

第22期首：8,569円

第27期末：6,063円（既払分配金600円）

騰落率：△23.5%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

オージェンタム・トラスト・クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）（以下、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）」といいます。）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資した結果、クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）の下落が要因となり、基準価額は値下がりしました。クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）については、米国の株式とオプション取引を組合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を活用した結果、為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）がプラス要因となった一方で、株価が下落したことや選定通貨が対円で下落したことが要因となり、値下がりしました。オプション取引は、プラス要因となりました。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル・リターンズ-通貨セレクト・コース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
第22期	(期首) 2015年 3月 9日	8,569	—	12,520	—	0.0	98.6
	3月末	8,468	△ 1.2	12,610	0.7	0.0	98.8
	(期末) 2015年 4月 7日	8,436	△ 1.6	12,576	0.5	0.0	98.8
第23期	(期首) 2015年 4月 7日	8,336	—	12,576	—	0.0	98.8
	4月末	8,719	4.6	12,735	1.3	0.0	97.7
	(期末) 2015年 5月 7日	8,666	4.0	12,573	△ 0.0	0.0	98.8
第24期	(期首) 2015年 5月 7日	8,566	—	12,573	—	0.0	98.8
	5月末	8,734	2.0	12,819	2.0	0.0	98.9
	(期末) 2015年 6月 8日	8,605	0.5	12,650	0.6	0.0	98.9
第25期	(期首) 2015年 6月 8日	8,505	—	12,650	—	0.0	98.9
	6月末	8,054	△ 5.3	12,437	△ 1.7	0.0	98.9
	(期末) 2015年 7月 7日	8,041	△ 5.5	12,505	△ 1.2	0.0	98.3
第26期	(期首) 2015年 7月 7日	7,941	—	12,505	—	0.0	98.3
	7月末	7,767	△ 2.2	12,746	1.9	0.0	99.1
	(期末) 2015年 8月 7日	7,515	△ 5.4	12,594	0.7	0.0	98.8
第27期	(期首) 2015年 8月 7日	7,415	—	12,594	—	0.0	98.8
	8月末	6,578	△ 11.3	12,022	△ 4.5	0.0	99.3
	(期末) 2015年 9月 7日	6,163	△ 16.9	11,613	△ 7.8	0.0	98.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

○米国株式市況

S & P 500種株価指数は下落しました。米国株式市況は、第22期首から2015年8月上旬にかけて、F R B（米国連邦準備制度理事会）による利上げタイミングをめぐる不透明感が強まった局面などでは低調に推移した一方で、ギリシャにおける債務交渉の行方に一喜一憂し同国支援合意への期待が高まった局面などでは反発するなど、比較的狭いレンジ内での推移となりました。8月下旬に入ると、中国に端を発した世界経済への不安から米国株式市況は急落しました。第27期末にかけては、F R Bは利上げを実施しないとの見方が広がったことで買い戻しが入り、小幅ながら反発しました。

○為替相場

選定通貨（※）は対円で下落しました。第22期首から2015年5月末にかけては、米国の利上げ時期をめぐる思惑から、選定通貨は上下に振れる展開が続きました。その中でも、ブラジル・リアルは大手石油会社の汚職事件が嫌気されたことなどから、対円で下落する動きとなりました。一方で、比較的堅調な推移となった南アフリカ・ランドは対円で上昇しました。6月に入ると、ギリシャと国際債権団の支援協議が難航し、市場のリスク回避姿勢が強まる中、安全通貨としての円買いが加速したことで、選定通貨は対円でおおむね下落しました。7月以降も、中国株式市場や商品価格の下落に加え、中国の人民元切下げをきっかけに中国や新興国の景気減速懸念が高まったことで、選定通貨は対円でおおむね下落する動きとなりました。当作成期間において、ニュージーランド・ドル、南アフリカ・ランド、ブラジル・リアル、トルコ・リラ、豪ドル、メキシコ・ペソ、インドネシア・ルピア、インド・ルピー、ロシア・ルーブルは対円で下落しました。

（※）選定通貨とは、通貨の選定方針により、為替取引の対象通貨として選定された通貨をいいます。

○短期金利市況

選定通貨の短期金利は、高い経済成長率やインフレ率を背景に米ドルの短期金利をおおむね上回って推移しました。米国では政策金利の誘導目標レンジは0～0.25%で据え置かれました。

前作成期間末における「今後の運用方針」

○当ファンド

引き続き、クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

○クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）

投資対象銘柄をS & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄から世界産業分類基準（GICS）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とし、ドイツ銀行グループが独自に開発した株式分析手法「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を活用して、選定通貨で実質的な運用を行ないます。選定通貨については原則として、シティ世界国債インデックスおよびJPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス－エマーシング・マーケット ブロードの構成国の通貨の中から、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を考慮し、6つの通貨を選定します。

○ダイワ・マネー・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

ポートフォリオについて

○当ファンド

当ファンドは、クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）の受益証券とダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券に投資するファンド・オブ・ファンズであり、当期間を通じてクロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）への投資割合を高位に維持しました。

○クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）

投資対象銘柄をS & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からGICSの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とし、ドイツ銀行グループが独自に開発した株式分析手法「ク

ロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。また、米ドル売り/選定通貨買いの為替取引を活用して、選定通貨で実質的な運用を行ないました。選定通貨においては、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を勘案し、中長期的な視点から安定したキャリー収益が享受できる通貨を毎月6通貨選定し、運用を行ないました。また、選定通貨合計の比率は、原資産に対しておおむね100%を維持しました。

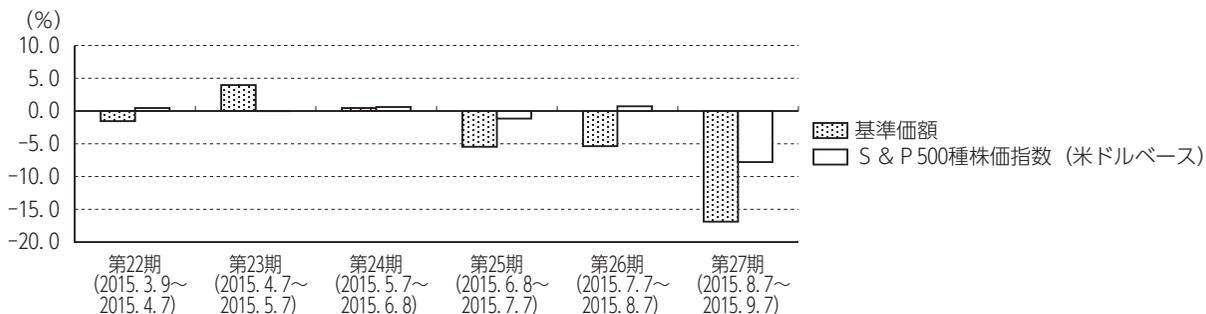
○ダイワ・マネー・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

第22期から第27期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ100円といたしました。
 収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第22期	第23期	第24期	第25期	第26期	第27期
	2015年3月10日 ～2015年4月7日	2015年4月8日 ～2015年5月7日	2015年5月8日 ～2015年6月8日	2015年6月9日 ～2015年7月7日	2015年7月8日 ～2015年8月7日	2015年8月8日 ～2015年9月7日
当期分配金（税込み）（円）	100	100	100	100	100	100
対基準価額比率（%）	1.19	1.15	1.16	1.24	1.33	1.62
当期の収益（円）	100	100	100	100	100	100
当期の収益以外（円）	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額（円）	1,252	1,266	1,272	1,303	1,323	1,351

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第22期	第23期	第24期	第25期	第26期	第27期
(a) 経費控除後の配当等収益	112.56円	113.53円	104.46円	130.54円	120.50円	126.91円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	717.12	749.23	760.69	763.23	767.75	790.06
(d) 分配準備積立金	522.88	503.80	507.40	509.40	535.45	534.57
(e) 当期分配対象額（a + b + c + d）	1,352.57	1,366.57	1,372.56	1,403.17	1,423.71	1,451.54
(f) 分配金	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
(g) 翌期繰越分配対象額（e - f）	1,252.57	1,266.57	1,272.56	1,303.17	1,323.71	1,351.54

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

引続き、クロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス) への投資割合を高位に維持することを基本とします。

○クロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス)

投資対象銘柄をS & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C Sの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とし、ドイツ銀行グループが独自に開発した株式分析手法「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。また、米ドル売り/選定通貨買いの為替取引を活用して、選定通貨で実質的な運用を行ないます。選定通貨については原則として、シティ世界国債インデックスおよびJPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット ブロードの構成国の通貨の中から、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を考慮し、6つの通貨を選定します。

○ダイワ・マネー・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第22期～第27期		項 目 の 概 要
	(2015. 3. 10～2015. 9. 7)		
	金 額	比 率	
信託報酬	53円	0. 657%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は8, 095円です。
(投信会社)	(17)	(0. 214)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販売会社)	(35)	(0. 429)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(1)	(0. 013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0. 004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	53	0. 661	

(注1) 期中の費用 (消費税のかかるものは消費税を含む) は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2015年3月10日から2015年9月7日まで)

決算期	第 22 期 ～ 第 27 期			
	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	1,804,209	133,853	3,781,023	271,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

(2015年3月10日から2015年9月7日まで)

第 22 期 ～ 第 27 期						
買 付				売 付		
銘 柄	口 数	金 額	平均単価	銘 柄	口 数	金 額
	千口	千円	円		千口	千円
CROCI US STRATEGY FUND CURRENCY SELECTION CLASS (ケイマン諸島)	838.36	63,000	75	CROCI US STRATEGY FUND CURRENCY SELECTION CLASS (ケイマン諸島)	3,781.023	271,000
						71

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間（第22期～第27期）中における利害関係人との取引はありません。

(3) 当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間（第22期～第27期）中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

(2) ダイワ・マネー・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

(2015年3月10日から2015年9月7日まで)

区 分	第 22 期 ～ 第 27 期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	29,139	1,999	6.9	—	—	—
コール・ローン	1,387,336	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーフンドのマザーファンド所有口数の割合。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 27 期 末		
	口 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI US STRATEGY FUND CURRENCY SELECTION CLASS	8,432.792	463,626	98.0

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年9月7日現在

項 目	第 27 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	463,626	96.2
ダイワ・マネー・マザーファンド	100	0.0
コール・ローン等、その他	18,066	3.8
投資信託財産総額	481,792	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第21期末	第 27 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	98	98	100

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2015年4月7日)、(2015年5月7日)、(2015年6月8日)、(2015年7月7日)、(2015年8月7日)、(2015年9月7日) 現在

項 目	第22期末	第23期末	第24期末	第25期末	第26期末	第27期末
(A) 資産	816,310,060円	854,687,068円	830,840,255円	766,377,923円	611,872,482円	481,792,987円
コール・ローン等	20,300,263	20,679,775	20,266,665	24,247,599	16,118,483	18,066,374
投資信託受益証券 (評価額)	795,909,699	833,907,195	810,473,482	742,030,216	595,653,891	463,626,505
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	100,098	100,098	100,108	100,108	100,108	100,108
(B) 負債	10,527,661	10,777,256	11,061,800	11,154,881	8,962,611	8,554,399
未払収益分配金	9,666,097	9,851,496	9,638,834	9,509,911	8,130,930	7,804,849
未払解約金	—	—	432,400	784,813	—	116,396
未払信託報酬	856,335	914,943	973,804	838,279	804,892	602,692
その他未払費用	5,229	10,817	16,762	21,878	26,789	30,462
(C) 純資産総額 (A-B)	805,782,399	843,909,812	819,778,455	755,223,042	602,909,871	473,238,588
元本	966,609,770	985,149,630	963,883,466	950,991,194	813,093,059	780,484,908
次期繰越損益金	△ 160,827,371	△ 141,239,818	△ 144,105,011	△ 195,768,152	△ 210,183,188	△ 307,246,320
(D) 受益権総口数	966,609,770口	985,149,630口	963,883,466口	950,991,194口	813,093,059口	780,484,908口
1万口当り基準価額 (C/D)	8,336円	8,566円	8,505円	7,941円	7,415円	6,063円

*第21期末における元本額は974,159,152円、当作成期間(第22期～第27期)中における追加設定元本額は127,071,823円、同解約元本額は320,746,067円です。

*第27期末の計算口数当りの純資産額は6,063円です。

*第27期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は307,246,320円です。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル・リターンズ-通貨セレクト・コース (毎月分配型)

■ 損益の状況

項目	第22期 自 2015年 3月10日 至 2015年 4月 7日 第23期 自 2015年 4月 8日 至 2015年 5月 7日	第23期 自 2015年 5月 8日 至 2015年 6月 8日 第25期 自 2015年 6月 9日 至 2015年 7月 7日	第24期 自 2015年 5月 8日 至 2015年 6月 8日 第25期 自 2015年 6月 9日 至 2015年 7月 7日	第25期 自 2015年 6月 9日 至 2015年 7月 7日 第27期 自 2015年 8月 8日 至 2015年 9月 7日	第26期 自 2015年 7月 8日 至 2015年 8月 7日 第27期 自 2015年 8月 8日 至 2015年 9月 7日	第27期 自 2015年 8月 8日 至 2015年 9月 7日
(A) 配当等収益	11,741,908円	11,510,032円	11,048,874円	13,257,844円	10,607,812円	10,511,822円
受取配当金	11,741,395	11,509,450	11,048,229	13,257,366	10,606,856	10,511,319
受取利息	513	582	645	478	956	503
(B) 有価証券売買損益	△ 23,738,222	21,067,953	△ 6,520,635	△ 56,463,862	△ 44,517,225	△ 107,006,188
売買益	257,510	21,394,925	207,520	189,534	3,702,224	340,829
売買損	△ 23,995,732	△ 326,972	△ 6,728,155	△ 56,653,396	△ 48,219,449	△ 107,347,017
(C) 信託報酬等	△ 861,564	△ 920,531	△ 979,749	△ 843,395	△ 809,803	△ 606,365
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 12,857,878	31,657,454	3,548,490	△ 44,049,413	△ 34,719,216	△ 97,100,731
(E) 前期繰越損益金	△ 113,674,626	△ 130,607,819	△ 104,409,090	△ 108,495,270	△ 137,405,221	△ 166,369,361
(F) 追加信託差損益金	△ 24,628,770	△ 32,437,957	△ 33,605,577	△ 33,713,558	△ 29,927,821	△ 35,971,379
(配当等相当額)	(69,317,833)	(73,810,403)	(73,322,143)	(72,583,033)	(62,425,354)	(61,663,065)
(売買損益相当額)	(△ 93,946,603)	(△ 106,248,360)	(△ 106,927,720)	(△ 106,296,591)	(△ 92,353,175)	(△ 97,634,444)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 151,161,274	△ 131,388,322	△ 134,466,177	△ 186,258,241	△ 202,052,258	△ 299,441,471
(H) 収益分配金	△ 9,666,097	△ 9,851,496	△ 9,638,834	△ 9,509,911	△ 8,130,930	△ 7,804,849
次期繰越損益金 (G + H)	△ 160,827,371	△ 141,239,818	△ 144,105,011	△ 195,768,152	△ 210,183,188	△ 307,246,320
追加信託差損益金	△ 24,628,770	△ 32,437,957	△ 33,605,577	△ 33,713,558	△ 29,927,821	△ 35,971,379
(配当等相当額)	(69,317,833)	(73,810,403)	(73,322,143)	(72,583,033)	(62,425,354)	(61,663,065)
(売買損益相当額)	(△ 93,946,603)	(△ 106,248,360)	(△ 106,927,720)	(△ 106,296,591)	(△ 92,353,175)	(△ 97,634,444)
分配準備積立金	51,757,209	50,965,954	49,338,540	51,348,209	45,204,950	43,823,184
繰越損益金	△ 187,955,810	△ 159,767,815	△ 159,837,974	△ 213,402,803	△ 225,460,317	△ 315,098,125

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程 (総額)」の表を参照。

■ 収益分配金の計算過程 (総額)

項目	第22期	第23期	第24期	第25期	第26期	第27期
(a) 経費控除後の配当等収益	10,880,344円	11,184,808円	10,069,125円	12,414,449円	9,798,009円	9,905,457円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	69,317,833	73,810,403	73,322,143	72,583,033	62,425,354	61,663,065
(d) 分配準備積立金	50,542,962	49,632,642	48,908,249	48,443,671	43,537,871	41,722,576
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	130,741,139	134,627,853	132,299,517	133,441,153	115,761,234	113,291,098
(f) 分配金	9,666,097	9,851,496	9,638,834	9,509,911	8,130,930	7,804,849
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	121,075,042	124,776,357	122,660,683	123,931,242	107,630,304	105,486,249
(h) 受益権総口数	966,609,770口	985,149,630口	963,883,466口	950,991,194口	813,093,059口	780,484,908口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第22期	第23期	第24期	第25期	第26期	第27期
		100円	100円	100円	100円	100円
（単 価）	(8, 336円)	(8, 566円)	(8, 505円)	(7, 941円)	(7, 415円)	(6, 063円)

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記()内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

《お知らせ》

●信託期間の延長について

信託期間を5年間延長し、信託終了日を2016年9月7日から2021年9月7日に変更しました。

●取得申込および一部解約請求の受付停止日の変更について

取得申込および一部解約請求の受付停止日のうちバミューダの銀行の休業日およびケイマンの銀行の休業日を、受付停止日から除外する変更を行ないました。

《訂正のお知らせ》

作成対象期間の末日が2015年3月9日の交付運用報告書および運用報告書（全体版）につきまして、「1万口当りの費用の明細」の表の「項目の概要」における次の記載にて下線部が不要でした。お詫び申し上げますとともに、下線部を除いてお読み替えくださいますようお願い申し上げます。

「期中の平均基準価額（月末値の平均値）は9,508円です。」

オージェンタム・トラストークロッキーUSストラテジー・ファンド
 日本円・クラス／豪ドル・クラス／ブラジル・リアル・クラス／
 米ドル・クラス／通貨セレクト・クラス

当ファンド（ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプル・リターンズ－）はケイマン籍の外国投資信託「オージェンタム・トラストークロッキーUSストラテジー・ファンド 日本円・クラス／豪ドル・クラス／ブラジル・リアル・クラス／米ドル・クラス／通貨セレクト・クラス」に投資しておりますが、以下の内容はすべてのクラスを合算しております。

（注）2015年9月7日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（日本円建て）

貸借対照表
 2015年2月28日

資産	
有価証券の公正価値（費用345,930,095,717円）	¥ 349,060,558,551
現金および現金等価物	1,729,221,526
スワップ契約による評価益	1,042,330,049
その他資産	4,863,504
資産合計	<u>351,836,973,630</u>
負債	
スワップ契約による評価損	84,035,672
未払：	
スワップ契約終了による未払金	28,896,398,902
有価証券の購入による未払金	1,633,463,703
管理会社報酬	69,859,125
投資運用会社報酬	24,145,196
名義書き換え代理報酬	15,085,652
設立費用	6,496,199
専門家報酬	6,083,956
通貨投資アドバイザー報酬	318,297
受託会社報酬	195,774
負債合計	<u>30,736,082,476</u>
純資産	<u>¥ 321,100,891,154</u>
豪ドル・クラス	¥ 15,013,756,303
ブラジル・リアル・クラス	292,646,226,250
日本円・クラス	2,460,208,476
通貨セレクト・クラス	869,687,241
米ドル・クラス	10,111,012,884
	<u>¥ 321,100,891,154</u>

発行済み受益証券数

豪ドル・クラス	115,765,186
ブラジル・リアル・クラス	3,051,696,713
日本円・クラス	23,246,739
通貨セレクト・クラス	10,531,507
米ドル・クラス	59,495,528

1口当たりの純資産

豪ドル・クラス	¥	129.69
ブラジル・リアル・クラス	¥	95.90
日本円・クラス	¥	105.83
通貨セレクト・クラス	¥	82.58
米ドル・クラス	¥	169.95

損益計算書

2015年2月28日に終了した年度

収益

その他収益	¥	5,030,927
収益合計		<u>5,030,927</u>

費用

投資運用会社報酬	287,367,249
管理会社報酬	132,304,372
名義書き換え代理報酬	29,147,708
専門家報酬	13,625,991
通貨投資アドバイザー報酬	1,438,405
受託会社報酬	1,361,317
その他費用	3,864,360
費用合計	<u>469,109,402</u>

純投資損失

(464,078,475)

実現益 (実現損) と評価益 (評価損) :

実現益 (実現損) の内訳 :

有価証券への投資	63,844,457,174
スワップ契約	(41,837,109,823)
外国為替換算および為替先渡契約	102,824,638
純実現益	<u>22,110,171,989</u>

評価益 (評価損) の純変動の内訳 :

有価証券への投資	2,507,195,339
スワップ契約	250,344,890
外国為替換算	(1,814,123)
評価益の純変動	<u>2,755,726,106</u>

純実現益および純評価益

24,865,898,095

業務活動の結果生じた純資産の純増

¥ 24,401,819,620

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル・リターンズー

当ファンド (ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル・リターンズー) はケイマン籍の外国投資信託「オージェンタム・トラストークロッキーUSストラテジー・ファンド 日本円・クラス/豪ドル・クラス/ブラジル・リアル・クラス/米ドル・クラス/通貨セレクト・クラス」に投資しておりますが、以下の内容はすべてのクラスに共通です。
(注) 2015年9月7日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

(日本円建て)

投資明細表
2015年2月28日

受益証券数	有価証券の明細	純資産に占める割合 (%)	公正価値
	ストラクチャード商品 (108.71%)		
27,572,996	CROCI Buy-Write Index* - トータル・リターン・スワップ		¥ 349,060,558,551
	ストラクチャード商品計 (費用 345,930,095,717円)		349,060,558,551
	投資計 (個別原価 345,930,095,717円)	108.71%	¥ 349,060,558,551

*当ファンドは Deutsche Bank A. G., London Branch に十分な資金規模を持つパフォーマンス・スワップを通して CROCI Buy-Write Index に概念的なエクスポージャーを有しています。

豪ドル・クラス外国為替スワップ契約

買い	カウンターパーティー	想定元本	満期日	売り	想定元本	純評価益 (損)	純資産に占める割合 (%)
AUD	Deutsche Bank A. G.	164,283,914	2015年3月31日	USD	(129,393,296)	¥ (63,966,091)	(0.02%)

ブラジル・リアル・クラス外国為替スワップ契約

買い	カウンターパーティー	想定元本	満期日	売り	想定元本	純評価益 (損)	純資産に占める割合 (%)
BRL	Deutsche Bank A. G.	7,037,783,516	2015年3月31日	USD	(2,432,457,136)	¥ 1,040,756,387	0.32%

日本円・クラス外国為替スワップ契約

買い	カウンターパーティー	想定元本	満期日	売り	想定元本	純評価益 (損)	純資産に占める割合 (%)
JPY	Deutsche Bank A. G.	2,499,948,905	2015年3月31日	USD	(21,045,148)	¥ (14,499,491)	(0.00%)

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル・リターンズ-

通貨セレクト・クラス為替スワップ契約

買い	カウンターパーティー	想定元本	満期日	売り	想定元本	純評価益 (損)	純資産に占める割合 (%)
AUD	Deutsche Bank A. G.	1,230,221	2015年3月31日	USD	(969,097)	¥ (894,416)	(0.00%)
BRL	Deutsche Bank A. G.	3,853,461	2015年3月31日	USD	(1,328,022)	1,029,282	0.00%
INR	Deutsche Bank A. G.	82,934,906	2015年3月31日	USD	(1,335,200)	25,046	0.00%
NZD	Deutsche Bank A. G.	1,403,724	2015年3月31日	USD	(1,055,239)	519,334	0.00%
TRY	Deutsche Bank A. G.	3,306,619	2015年3月31日	USD	(1,320,843)	(2,012,216)	(0.00%)
ZAR	Deutsche Bank A. G.	13,434,546	2015年3月31日	USD	(1,170,095)	(2,663,458)	(0.00%)
合計						¥ (3,996,428)	(0.00%)

用語集：

AUD	豪ドル
BRL	ブラジル・レアル
INR	インド・ルピー
JPY	日本円
NZD	ニュージーランド・ドル
TRY	トルコ・リラ
USD	米ドル
ZAR	南アフリカ・ランド

<補足情報>

当ファンド（ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）ートリプル・リターンズ）が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2014年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、2015年9月7日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を66ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄
公 社 債

(2015年3月10日から2015年9月7日まで)

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
520 国庫短期証券 2015/6/22	3,499,975		
541 国庫短期証券 2015/9/28	2,499,997		
521 国庫短期証券 2015/6/29	2,439,900		
532 国庫短期証券 2015/8/17	2,000,000		
542 国庫短期証券 2015/10/5	2,000,000		
548 国庫短期証券 2015/11/2	2,000,000		
538 国庫短期証券 2015/9/14	1,999,998		
540 国庫短期証券 2015/9/24	1,999,998		
535 国庫短期証券 2015/8/31	1,999,980		
550 国庫短期証券 2015/11/9	1,500,000		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2015年9月7日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンド（18,035,025千円）の内容です。

(1)国内（邦貨建）公社債（種類別）

区 分	2015年9月7日現在						
	額 面 金 額	評 価 額	組入比率	うちBB格 以下組入 比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	千円 12,000,000	千円 11,999,998	%	%	%	%	%
			65.2	—	—	—	65.2

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2)国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

2015年9月7日現在						
区 分	銘 柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
国債証券	538 国庫短期証券	—	千円 2,000,000	千円 1,999,999	2015/09/14	
	540 国庫短期証券	—	2,000,000	1,999,999	2015/09/24	
	541 国庫短期証券	—	2,500,000	2,499,999	2015/09/28	
	542 国庫短期証券	—	2,000,000	2,000,000	2015/10/05	
	548 国庫短期証券	—	2,000,000	2,000,000	2015/11/02	
	550 国庫短期証券	—	1,500,000	1,500,000	2015/11/09	
合 計	銘 柄 数	6銘柄				
	金 額		12,000,000	11,999,998		

(注) 単位未満は切捨て。

ダイワ・マネー・マザーファンド

運用報告書 第10期 (決算日 2014年12月9日)

(計算期間 2013年12月10日～2014年12月9日)

ダイワ・マネー・マザーファンドの第10期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	本邦通貨表示の公社債
運用方法	①わが国の公社債を中心に安定運用を行ないます。 ②邦貨建資産の組入れにあたっては、取得時に第二位（A-2格相当）以上の短期格付であり、かつ残存期間が1年未満の短期債、コマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
株式組入制限	純資産総額の30%以下

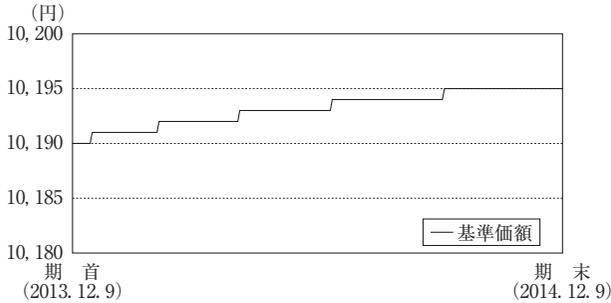
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組入比率
	円	騰 落 率 %	
(期首)2013年12月9日	10,190	—	63.2
12月末	10,191	0.0	60.2
2014年1月末	10,191	0.0	89.9
2月末	10,192	0.0	72.7
3月末	10,192	0.0	72.7
4月末	10,193	0.0	77.5
5月末	10,193	0.0	70.4
6月末	10,194	0.0	66.7
7月末	10,194	0.0	69.9
8月末	10,194	0.0	65.1
9月末	10,195	0.0	58.8
10月末	10,195	0.0	60.7
11月末	10,195	0.0	63.8
(期末)2014年12月9日	10,195	0.0	60.0

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,190円 期末：10,195円 騰落率：0.0%

【基準価額の主な変動要因】

利息収入により、基準価額は値上がりしました。

◆投資環境について

期を通じて、日銀は金融市場調節の操作目標をマネタリーベースとする量的・質的金融緩和政策を維持しました。また、2014年10月末には追加金融緩和を実施し、長期国債を中心とする資産買い入れを一層拡大しました。このような日銀の金融政策を背景に、短期金融市場ではおおむね低位での金利水準が続き、無担保コール翌日物金利は0.06%台を中心に推移しました。国庫短期証券(3カ月物)の利回りは0.06%程度で始まりましたが、日銀の買い入れによる需給ひっ迫等を背景に、△0.01%程度まで低下して期末を迎えました。

◆前期における「今後の運用方針」

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なっております。

◆ポートフォリオについて

短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産による安定運用を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークや参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

引続き、資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なっております。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用	—
合 計	—

(注) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2013年12月10日から2014年12月9日まで)

国 内	国 債 証 券	買 付 額	売 付 額
		千円	千円
		41,597,114	(35,000,000)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

ダイワ・マネー・マザーファンド

■主要な売買銘柄 公 社 債

(2013年12月10日から2014年12月9日まで)

当 期		期 末	
買 付	金 額	売 付	金 額
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
490 国庫短期証券 2015/2/9	11,999,832		
473 国庫短期証券 2014/11/17	1,499,994		
479 国庫短期証券 2014/12/15	1,499,985		
463 国庫短期証券 2014/10/6	1,499,868		
461 国庫短期証券 2014/9/22	1,499,865		
459 国庫短期証券 2014/9/16	1,499,857		
465 国庫短期証券 2014/10/14	1,399,910		
439 国庫短期証券 2014/6/23	1,399,867		
444 国庫短期証券 2014/7/14	1,399,830		
422 国庫短期証券 2014/4/14	1,399,778		

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 国内(邦貨建) 公社債(種類別)

区 分	当 期		期 末			
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率	
	千円	千円	%	%	%	
国債証券	15,400,000	15,399,872	60.0	—	60.0	
				5年以上	2年以上	2年未満

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2) 国内(邦貨建) 公社債(銘柄別)

区 分	当 期		期 末		償還年月日
	銘 柄	年 率	額面金額	評価額	
		%	千円	千円	
国債証券	479 国庫短期証券	—	1,500,000	1,499,998	2014/12/15
	482 国庫短期証券	—	1,000,000	999,997	2015/01/08
	490 国庫短期証券	—	12,000,000	11,999,889	2015/02/09
	493 国庫短期証券	—	900,000	899,986	2015/02/23
合計	銘柄数 金額	4銘柄	15,400,000	15,399,872	

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2014年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	15,399,872	60.0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 , そ の 他	10,253,640	40.0
投 資 信 託 財 産 総 額	25,653,512	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2014年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	25,653,512,783円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	10,253,640,160
公 社 債 (評価額)	15,399,872,623
(B) 負 債	—
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	25,653,512,783
元 次 期 繰 越 損 益 本 金	25,162,158,471
(D) 受 益 権 総 口 数	491,354,312
1 万 口 当 り 基 準 価 額 (C/D)	25,162,158,471円 10,195円

* 期首における元本額は13,660,921,100円、当期中における追加設定元本額は25,556,652,335円、同解約元本額は14,055,414,964円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ／R I C I[®]コモディティ・ファンド8,952,508円、U S 債券N B 戦略ファンド(為替ヘッジあり/年1回決算型)740,564円、U S 債券N B 戦略ファンド(為替ヘッジなし/年1回決算型)1,623,350円、N B ストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>米ドルコース981円、N B ストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>円コース981円、N B ストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>世界通貨分散コース981円、ダイワファンドラップコモディティセレクト23,865,228円、ダイワ米国株ストラテジー a (通貨選択型) トリプルリターンズー 日本円・コース(毎月分配型)132,757円、ダイワ米国株ストラテジー a (通貨選択型) トリプルリターンズー 豪ドル・コース(毎月分配型)643,132円、ダイワ米国株ストラテジー a (通貨選択型) トリプルリターンズー ブラジル・レアル・コース(毎月分配型)4,401,613円、ダイワ米国株ストラテジー a (通貨選択型) トリプルリターンズー 米ドル・コース(毎月分配型)12,784円、ダイワ/フィデリティ北米株式ファンドーパラダイムシフトー 49,096,623円、ダイワ F E グローバル・バリュー・ファンド(ダイワSMA 専用)13,896,435円、ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型)ブラジル・レアル・コース(毎月分配型)98,290,744円、ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型)日本円・コース(毎月分配型)23,590,527円、ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型)米ドル・コース(毎月分配型)2,163,360円、ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型)豪ドル・コース(毎月分配型)13,761,552円、ダイワ/U B S エマージング C B ファンド2,498,575円、ダイワ/アムンディ食糧増産関連ファンド14,780,160円、ダイワ日本リート・ファン ド・マネー・ポートフォリオ134,197,158円、ダイワ新興国ハイインカム・ブラス II - 金積立型 - 1,972,537円、ダイワ新興国ハイインカム債券ファンド(償還 条項付き) 為替ヘッジあり4,926,716円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド(資 産成長コース)49,082,149円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド(通貨 a コー ス)196,290,094円、ダイワ・インフラビジネス・ファンドーインフラ革命 - (為替ヘッジあり)9,813,543円、ダイワ・インフラビジネス・ファンドーイン フラ革命 - (為替ヘッジなし)29,440,629円、ダイワ米国ML P ファンド(毎 月分配型)米ドルコース13,732,222円、ダイワ米国ML P ファンド(毎月分配型) 日本円コース3,874,449円、ダイワ米国ML P ファンド(毎月分配型)通貨 a コー ス13,437,960円、ダイワ英国高配当株ツイン a (毎月分配型)98,107円、ダイワ 英国高配当株ファンド98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポ ートフォリオ74,252,220円、ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型)南アフリカ ・ランド・コース(毎月分配型)98,252円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型)トルコ・リラ・コース(毎月分配型)2,554,212円、ダイワ米国 高金利社債ファンド(通貨選択型)通貨セレクト・コース(毎月分配型)1,178,976円、ダイワ・オーストラリア高配当株 a (毎月分配型)株式 a コース 98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株 a (毎月分配型)通貨 a コース 98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株 a (毎月分配型)株式&通貨ツイン a コース982,029円、プルベア・マネー・ポートフォリオ III 24,367,381,676 円、ダイワ米国株ストラテジー a (通貨選択型) トリプルリターンズー 通貨 セレクト・コース(毎月分配型)98,174円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,195円です。

■損益の状況

当期 自2013年12月10日 至2014年12月9日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	6,254,653円
受 取 利 息	6,254,653
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	1,634
売 買 益	1,634
(C) 当 期 損 益 金 (A + B)	6,256,287
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	259,898,412
(E) 解 約 差 損 益 金	△ 271,101,052
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	496,300,665
(G) 合 計 (C + D + E + F)	491,354,312
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	491,354,312

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。